

昭和 42 年 9 月 10 日 印刷

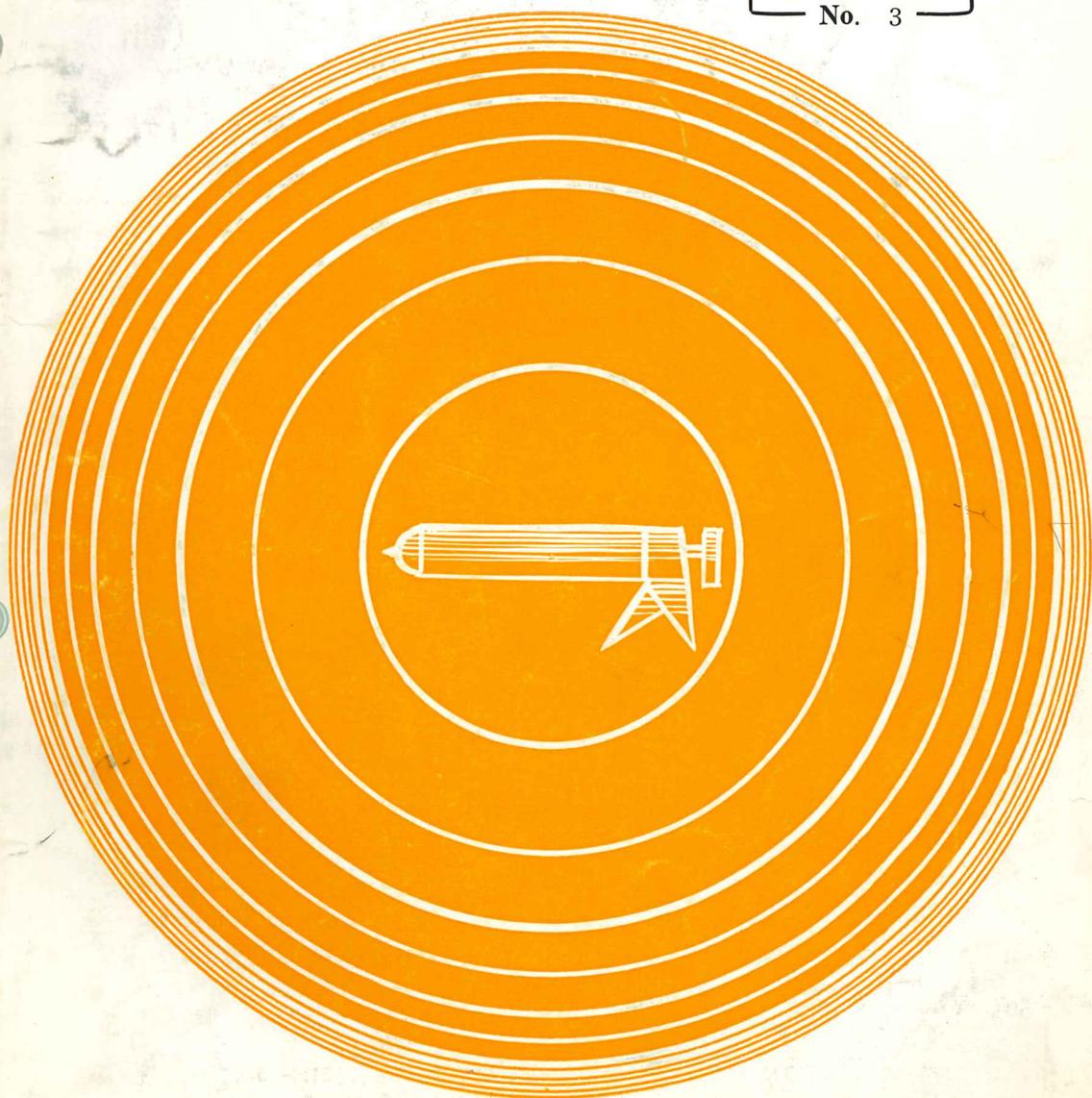
昭和 42 年 9 月 15 日 発行

日本シーリング協会

シーリング

VOL. 1. NO.3 1967. SEPT,

1967
第 3 号
No. 3



JAPAN SEALING ASSOCIATION



マルエスコーキング

(油性)

ハイシール

(チオコール系)

日新工業はマルエス印 ルーフィングとビニエスタイル“SP”のメーカーです。

日新工業株式会社

本社／東京都足立区千住東町93 TEL (882) 2424-35

大阪支店／大阪市西区新町北通り1の18 TEL (531) 5281-3

九州出張所／福岡市大手門1の6の14 TEL 福岡(74)3461-3 福

名古屋出張所／名古屋市千種区千種通り2の19岐阜正ビル TEL 千種(731) 6181-4

広島出張所／広島市八丁堀12番16号SYビル TEL 中(21)1019

札幌出張所／札幌市南17条西9の691 TEL 札幌(51)5659・6885

東京工場／東京都足立区千住東町93 TEL (882) 2424

山形工場／山形市大字南館字中河原438 TEL 山形(3)0438-9

用途

- エキスパンションジョイントの充填
- 窓枠廻り空隙部分の充填
- PSコンクリート ブロック等の目地或は接合部分の充填
- 壁 屋根等の亀裂や空隙部分の充填
- ボード スレート トタン板等の接合部分の充填

特性

- コンクリート 金属 木その他あらゆる物に対し附着性が良い
- 表面皮膜化は早く薄く 亀裂も入らない
- 内部は何時迄も固まらず 寒暑ガス等にさらされても殆んど変化しない
- 収縮は極めて少く保油性も良い

製造

鐘淵紡績株式会社

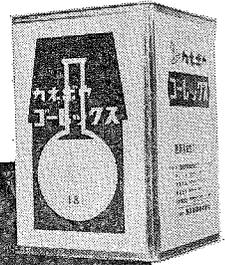
本部 大阪市都島区友淵町1-2-3
TEL 大阪(921) 1231

発売

鐘淵合成化学工業株式会社

本社 大阪市北区太融町3-3
(大阪合同ビル)
TEL 大阪(313) 4024・3734・2754

東京支店 東京都港区新橋5-7-13 TEL (432)4551(代表)
大阪支店 大阪市西区江戸堀上通1-25 TEL (441)4344・5627
名古屋支店 名古屋市中区広小路通4-17 TEL (221)9131(代表)



かずかずの実績をうちたてた
建築用油性コーキング材



カネボウゴレックス

油性コーキング材……………P-320 プチル系(無皮膜性)コーキング材…P-250
チオコール系弾性シーラント…P-5,000

Kanabo 鐘淵

繊維製品から化粧品まで 世界でただひとつ 総合の美をつくる カネボウ

ポリサルファイド系シーラント

ファイニッシュ No. 300

油性コーキング材



ファイニッシュ

製造・発売元

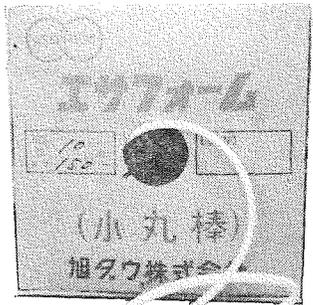


日本添加剤工業株式会社

東京支店	東京都千代田区内神田2丁目5番1号	電話(252)	3881-4	5402
大阪支店	大阪市西区江戸堀北通り1丁目69番地(日々会館ビル内)	電話(443)	6231	-3
名古屋出張所	名古屋市中村区太閤通2丁目40番地(フタバビル3F)	電話(571)	6808	8632
本社工場	東京都板橋区前野町1丁目21番地	電話(960)	8621	~4

責任施工 添加剤工事株式会社

東京都千代田区内神田1丁目10番2号三満ビル 電話(291)6041~3



エサフォーム小丸棒は 理想的なバックアップ材です

1. エサフォーム小丸棒はシーラントに対して非接着性なので、理想的な2面接着が可能になります。
2. エサフォーム小丸棒はシーラントを鼓型にするので、弾性シーラントとしての機能を十分に発揮させます。
3. エサフォーム小丸棒はシーラントに対して、化学的悪影響を及ぼすような成分を全く含みません。
4. エサフォーム小丸棒は物性的に安定したポリエチレンフォームなので、耐薬品、耐老化性に優れています。
5. エサフォーム小丸棒は丸棒型なので、ジョイント中の多少のムラがあっても影響されずに作業ができます。
6. エサフォーム小丸棒は長尺ロープ状、ダンボールケース入りなので取扱いが簡単です。
7. エサフォーム小丸棒はトップメーカー旭ダウが、バックアップ材及びエキスパンション専用開発した製品です。

尚 当社では角型の各サイズも取り揃えております

日本シーリング協会賛助会員
各種バックアップ材専門店

株式会社 新和商会

東京都豊島区巣鴨1-3
TEL (944) 6411(代)

シーリング材講習会（住宅公団金町）……………(15)
 ポリサルファイド JIS 原案……………(4)
 JASS（シーリング材工事）……………(10)

<ご 挨拶>良心的施工と適正価格の推進を……………山 本 哲 朗…(1)
 <ご 挨拶>PRの徹底に全力……………野 口 清之助…(2)

◆ 連載読物 ◆

ヨーロッパの建物みてある記……………波 多 野 一 郎…(22)

建築用油性コーキング材 JIS マーク商品について……………上 野 和 夫…(3)
 施工屋からみたシーリングのいろいろ……………宇 佐 見 満 男…(20)

資 材 研 究
 ブチルゴム系シーラント……………(12)
 エポキシ系シーラント……………(13)

用 語 解 説……………(14)
 無 題<よりよいシーリング施工へのアドバイス>……………(31)

やぶにらみ建築論・万能空間の功罪……………(30)

工 事 報 告（電通本社・大阪建物ビル・渋谷東急ビル・中労委会館）……………(26)

相 談 室……………(25) シーリング材価格表……………(34)

協 会 だ よ り……………(32) 日本シーリング協会会員名簿……………(36)

編 集 だ よ り……………(40) 本誌掲載広告索引……………40頁後

シーリング風流抄……………(9)・(2) 余 談……………目次下

余談

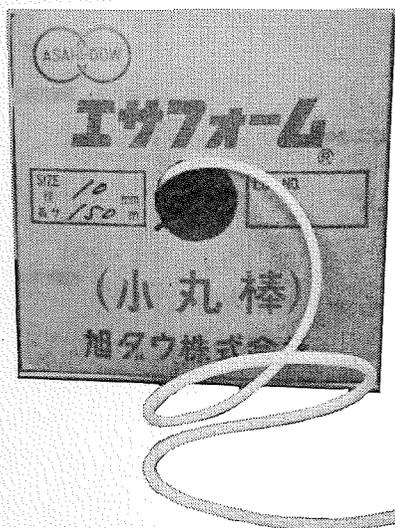
建設会社といえば、数ある企業のなかで、まず硬派に属する男性的な職場といえるが、それだけに一昔前まではどこの建設会社へ行っても、女性の姿は数えるほどにすぎなかった。しかしその建設業に建設ブームが訪ずれ、規模が膨張するにしたがって女性の進出もめざましくなってきた。総務、経理、厚生、積算関係をはじめ最近では電子計算機の導入などによってキーパンチャーの姿も目立っている。そしてよく口にされるような「職場の花」的な存在ではなく、いまや会社の浮沈をもなう責任あるポストを占めている女性社員も多い。ところがそ

の赤い気炎とはうらはらに、まだまだ男性社員にくらべ職業意識が薄く責任感に乏しいとの声も聞く。これはある発注官庁の契約担当者がこぼしていたことだが、指名通知や支払業務などで営業部に電話しても、女性が応待にて一回ですぐに用件を理解してもらえないことが少なくなく生半可な返事だったり、文字や場所がわからず数えてくれと催促されたりすることがよくあるという。

営業部などでは、営業マンはとかく留守がちにだけに、この種の連絡を受けとる率が多く、女性社員の責任はとくに重要なわけだ。聞きがちによっては数百万円、数千万円の工事の受注をもフイにしかねない。平素の自覚と勉強が必要なゆえんだが、経営者にしても女性社員の増加している現在それなりの社内教育が大切だ。

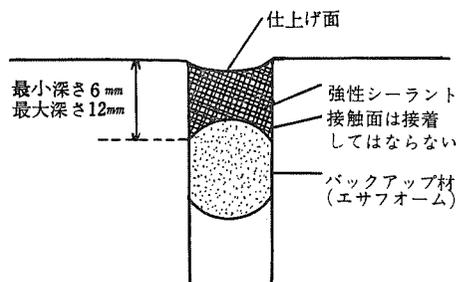
エサフォーム®

(ポリエチレン押出発泡体：独立気泡)



エサフォームは当社の製造するポリエチレン発泡体です。

独立気泡からなり、軽量かつ柔軟性に富み、硬過ぎず、軟らか過ぎず、クッション材として理想的な性質を持っており、しかも化学的に非常に安定しています。その他の特長として吸水性が低い、水蒸気透過性が低い、熱伝導率が低い、吸音性が高い、無毒、無臭である、加工が容易である等があげられます。



理想的なバックアップ材の使用法

用途

- 弾性シーラント・バックアップ材
- 防水シール材
- パッキン材
- 吸音材
- 目地材
- 気密材
- 継目ファイラー
- 断熱材
- 緩衝材

〔バックアップ材として使用する場合の特長〕

- ◎丸型である為、シーラントの断面がつづみ型となり、応力が旨く散ってシーラントが丈夫で永持ちする。
- ◎シーラントと接着しないので、シーラントに無理がかからない。
- ◎目地巾がバラついても丸型で調整される。
- ◎長尺で施工条件を充分に考慮した箱に入れてあるので取扱が容易である。
- ◎他に害を及ぼす滲出物は皆無であり、耐化学薬品性も抜群である。
- ◎吸水性が無い。



旭ダウ株式会社

本社 東京都千代田区有楽町1-12(日比谷三井ビル) TEL 502-7111
 大阪事務所 大阪市北区堂島浜通1-25(新大阪ビル) TEL 361-1291
 プラスチック加工研究所 川崎市大師河原夜光町 TEL 28-7551

良心的施工と適正価格の推進を



日本シーリング協会会長

山 本 哲 朗

(日歴化学工業株式会社)

今回私のはからずも当協会の会長をおおせつかりました。全く思いがけない事で、めんくらっております。例えるならば、今まで外野の三等席で勝手な事ばかりさわいで居たお客さんをひっぱって来て、ボックスに立たされたようなもので、しかもゲームは中盤、今やと言う大事な時期です。

一生懸命。それだけでヒットが打てるかどうか、とてもおぼつかないのですが、唯、一生懸命やるつもりでありますので、今後共よろしく御指導をおねがい致します。

協会も来年2月で満5年をむかえます。十年一昔は昔の話。今のテンポでは五年一昔とも言えるでしょう。この5年の間に我々の周囲には、はげしい進歩発展がとげられて来ました。

今日の話の超高層や、プレハブの普及は、5年前に想像されたにせよ、こうまで仕事をもらうのにお互いがしのぎをけづり、やれやれと思う間もなく職人の手配に苦労したり、やって見たらさっぱり利益にならなかったなどと、5年前のバラ色の夢と、今日の現実のきびしさに驚く私です。

こうしたはげしい変化の中で、年々、日本シーリング協会が発展を続けて来られたのは、誠にありがたい事と感謝しております。

これから、協会はますます努力して、今までの信用を更に高めて行きたいと念願しております。それには先ず「良心的な施工」を行うこと。この点については、特に施工業者の第3部会が主になって、施工技術の研究、講習などを繰かえしてやったり、また、この「シーリング」などによって、広くシーリングの仕事を理解していただいて居るのも、「良心的な施工」を行うためのもの

に他なりません。

次に、「良心的な施工」と同時に、「適正な価格」を維持しなければならない。これは大変なことであると共に最も大事な事で、自由競争の世の中に何を言うかとおっしゃられるかも知れませんが、お許しを願いたいと思います。

シーリングの業種は、名実共に下請となって、表には殆ど出ません。しかし、シーリングの重要性は、どなたもよく認識され、あるいは苦い経験をお持ちの方も多いかと思えます。私は「単価が安いから仕事が悪くなる。雨がもって来る。」などと不心得をもつ者では決してありません。ただどうしても、と思われるような単価であってはと憂慮する者です。

たとえ、総工事費の中では、シーリング工事費が1%にも満たない僅かなものであっても、「ガンー丁で誰にでも出来る仕事ではない」事を御理解いただければ、信用ある当協会各員に、適正な価格で御発注をいただき、そして厳重な監督をしてほしいと思えます。

材料や工賃労務費、交通費、経費の値上がりなど、私たちは深刻な状態にたちいたっておりますが、これはひとりシーリング業界だけの問題ではありません。何とかきりぬけて良心的な施工をと努力していますが、いかに良心的とは言え、損をして居ては、長つづきするものではありません。この点、元請業者の各位に、格別な御理解と御指導をお願いする次第であります。

今や建築におけるシーリングの重要性はますます増大し、超高層建築や、プレハブ建築にますますコーキングの真価が問われる時です。この点を十分に自覚して、私たちは、いささかなりとも、建築業界に貢献したいと念願するものであります。

P・Rの徹底に全力

日本シーリング協会P・R委員長

野口清之助

(日本添加剤工業株式会社)



シーリング材の製造会社およびそれを施工する工事会社が集って協会を組織し、自主活動を行なっている事は今さら申すまでもなく当協会の定款にある通り、業界の親睦と向上にあります。かような目的で協会の運営が首尾よく行われている事はすなわち、我国産業界に大きく貢献している事であり、また協会所属各社の適正利潤の留保にもつながる事と思えます。

四年前に公布された建築用油性コーキング材のJIS規格の実施、今年7月22日付にて一部認定工場が具体化し、これも協会が中心となって推進した結果によるもので、協会として特筆すべき大事業であり、ひいては我国産業界への一大貢献であり、大いに誇るべき事でありませう。

また本規格実施を機会に品質管理・社内組織、その他運営面等において各社それぞれの立場で整備向上を計られ、企業の合理化も徹底し、こうした企業自体の体質向上も高く評価されて良い事と思われませう。

前述のJIS規格制定の具体化、適正価格の維持、良い製品、良い工事等の諸問題が当協会の設立と相まって樹立された事業目標であり、現状価格の問題以外はほとんど実施され、ある意味では頭初の目標は達せられた事と思われませうが、しかし、価格面ではなかなかその実上らずむしろ悪化している状態と思われませう。

私は当協会のPR委員長として、PR委員の方々と共に昨今公営住宅等の現場を検分しましたが、訪問先において異口同音に施工不良の問題が取り上げられ適正価格による適正工事のPRの徹底が十分為されていない事に深く感じさせられるものがありました。また一方別な視野からみれば建築物にはシーリング材は不可欠なものであり、今後PR活動を一層活発に推進しなければならないと思えます。

かような現状からみてシーリング材の施工の重要性はもっと深く検討すべきであり、材質面において、シーリング材がいくらすぐれていても、材料自体は半製品であり、工事完了後においてはじめて完成品となるもので、施工技術その他について十分留意しなければならないと



痛感しております。

以上の事より今後の協会の在り方は協会員の親睦を一層密にし、同時に良い製品を良い施工によって業界の発展に寄与する様自覚せねばならないと思えます。その意味で今後とも私は全力を傾けてシーリングの材料面、施工面のPRを徹底させて行きたいと思えますので会員各位のご協力を懇望すると同時に当協会のさらなる隆盛を祈るものです。

おわりに本稿では、随想風の読物を、という予定だったのですが、はなはだ浅学非才で、人生の機微をうがった含蓄のある話というものも、その器でないようですので、次に日頃私の座右の銘としている先人の名言を掲げてその代りしたいと思います。

1割や1割5分の人が賛成する時には、その事の実施は困難である。しかし全員が賛同する時は時すでに遅しである。 —某銀行家の言葉から—

汝らの仕事を愛せよ。しかし汝らのなした過去の事実を愛するな。 —マコフスキー—

人の生くるはパンのみによるにあらず。 —聖書—
人の行うべきかぎりを行うが人の道にして、その事の成ると成らざるとは人の力の及ばざるところぞ

—本居居長—

建築用油性コーキング材の「JISマーク」商品について

昨年6月、日本シーリング協会、(財)建材試験センター共催の「建築用油性コーキング材JIS表示制度講習会」が開かれ、続いて8月にJIS指定商品として官報に公示されてから、かれこれ一年になりますが、今回、当協会加盟7社(株)A B C商会、小野田ユニロン(株)、鐘淵合成化学工業(株)、三洋工業(株)、タイホー工業(株)、大日本塗料(株)、及び日本添加剤工業(株)、アイウエオ順)がJIS表示許可工場に認可され、JISマーク入りコーキング材を市場に出せる様になりました。これは許可になった各社の努力もさることながら、ひとえに関係官庁、狩野、波多野両先生をはじめ、(財)建材試験センター、当協会の皆様の御指導、御鞭撻のたまものと深く感謝致しております。紙上をかりまして、厚く御礼申し上げます。

近年、我国建築界の建築方式がプレハブ化、乾式工法化による急速生産方法に進むにつれて、ジョイント部分へのシーリング材の使用が急激に増加の傾向にあります。そもそも我国で建築用油性コーキング材が製造され市販される様になったのは昭和30年前後からであります。以来、十有余年経つ今日、ついにJISマークのコーキング材が出る様になりましたが、ここでこれに至るまでの経過をふりかえてみますと、

- S 29~30年 東工大狩野研究室においてシーリング材の研究始む。
国産品が出はじめた。
- S 33年 コーキング標準化研究会発足(主査東工大狩野教授)
JIS原案作成
- S 35年 11月 日本工業調査会建築部会コーキング材専門委員会(委員長狩野教授)発足、4回審議
- S 36年 初回のJIS制定
- S 38年 2月 日本コーキング協会設立(現在の日本シーリング協会)業者乱立による、品質低下、施工の粗悪化を防止し、健全な業界発展を目的として設立。
同協会技術委員会は昭和39年のJIS改正時を目標に製品の品質向上を意図した改訂案を自主的に作成。
- S 39年 工業技術院が正式に「建築用コーキング材」JIS改訂原案の作成を(財)建材試験センターに委託、JIS改訂案作成委員会(会長狩野教授)発足、事務局日本コーキング協会
昭和39.8.19-40.3.36...8回委員会開催

S 40年7月13日 日本工業標準調査会建築部会「建築用油性コーキング材専門委員会、(委員長狩野教授)に原案をはかり、承認決定

S 41年1月1日 現在のJIS公布

(旧JISの表題建築用コーキング材)
(新 // 建築用油性コーキング材)

S 41年 8月 JIS指定商品として官報に公告、
(JIS工場審査受付)

S 42年 7月 JIS表示許可工場認可……(7社)

このように、審議に審議を重ねて作られたJISは文字どおり、権威ある規格であります。またこのJIS表示許可工場の認可は、その工場の設備、技術および管理等の生産条件が適正であり、一年間以上の統計的品質管理が徹底して、常にJISに適合する商品を製造する能力がある場合のみ許可されるものであります。

JISマークの表示が許可になった後は、政府は個々の製品について検査せず、JISマークの表示は許可をうけた製造業者の自主的な責任において行うようになっています。

しかし政府としても常にJISに適合した商品にのみこのマークがつけられているかどうかをチェックする必要があります。そこで、JISマーク表示許可を受けた製造業者に対しては、その後も許可した商品の技術的生産条件についていろいろな調査を行うほか、工業標準化法の規定に基づいて必要な場合には係官を現場へ派遣し、工場の立入検査を行ない、場合によっては許可の取り消しとか、JISマーク表示商品の販売停止などの措置をとることができるようになってきました。

上述のとおり、JISマークは使用者または消費者が安心してJISに適合した商品を手入できることを目的としたものであり、取引の単純化と公正化に大きな貢献をしている一方、標準化思想およびJISの普及にも大きな役割をはたしており、また、許可にあたっては、品質管理の導入を前提としているので、統計的品質管理の企業への導入面でも大きな推進力となっており、とくにこの面で中小企業に及ぼした効果はきわめて大きいものがあると云われています。

以上で今回の建築用油性コーキング材のJISマークの表示にいたるまでの経過を概略御報告致しましたが、今後これを機会にシーリング協会加盟各社が続々JIS指定工場としての認可を受け業界の発展はもとより需要者の皆様に安心して使用して戴けるより良い製品の製造に努力される様切望してやみません。

タイホー工業株式会社
名古屋工場長 上野和夫

建築用2成分型ポリサルファイド系シーリング材JIS(原案)

さる昭和40年7月、工業技術院より建材試験センターを経て日本シーリング協会へ依頼されて審議を続けて来ました「建築用2成分型ポリサルファイド系シーリング材 JIS 原案」が昭和42年7月完成、工業技術院へ答申されました。

これより専門委員会および建築部会にて審議され、JISとして世に出る次第ですが、原案作成委員会委員長狩野春一先生の御許可を得て、ここに全文を掲載することになりました。読者の中で何か御意見がありましたら、日本シーリング協会までおきかせ下されば幸甚です。

1. 適用範囲

この規格は建築物の目地部分、サッシ回りの充てんおよびガラスのはめ込みなどに使用する建築用2成分型ポリサルファイド系シーリング材(1)(以下シーリング材という)について規定する。

(注) (1) シーリング材には夏用または冬用として特別に分れているものがある。

2. 原料および製造

シーリング材は基剤および硬化剤から成り、基材は液状ポリサルファイド・充てん材などを主な原料とし、硬化剤は金属過酸化物などを主な原料として、それぞれよく練り混ぜて均質にしたものである。

3. 品質

- 3.1 シーリング材は5以下の試験を行ない表1の規定に合格しなければならない。ただし、引張接着強さについては当事者間の協議により5.6.2に規定する以外の被着体について試験を行なうことができる。
- 3.2 シーリング材の色は見本品を当事者間の協議によって定め、見本品に比べてはなはだしい色の差異があってはならない。
- 3.3 シーリング材これに接する鋼・アルミニウムなどをおかすものであってはならない。なお、セメントモルタル、コンクリートに接して使用されるものは5.4の試験に合格するものでなければならない。
- 3.4 シーリング材は人畜に害を与えるものであってはならない。
- 3.5 シーリング材の貯蔵安定性は製造後、未開封のまま、25°C以下で貯蔵した場合、少くとも6カ月なければならない。

4. 試験の一般条件

- 4.1 試験に用いる材料、試薬などは表2による。
- 4.2 基剤および硬化剤は試験前24時間以上標準状態に置く。試験は特にことわらないときは標準状態で行なう。標準状態とは温度 $20 \pm 3^\circ\text{C}$ 、湿度45~65% R・Hの状態をいう。ただし、夏用、または冬用として

(表-1)

項 目		規 格 値
タ ッ ク フ リ ー		合 格
ス ラ ン プ (mm)		3 以 下
汚 染 性		合 格
か た さ	標 準 状 態	15以上 50以下
	$70 \pm 1^\circ\text{C}$ 96時間	(標準状態の値+15)以下から50以下
引 張 接 着 強 さ (kg/cm^2)	初期引張接着強さ	1.0以上
	水中浸せき後の引張接着強さ	1.0以上
	加熱後の引張接着強さ	1.0以上
幅3cmのはく離接着強さ($\text{kg}/3\text{cm}$ 幅)		9 以 上
引 張 復 元 性(mm)		17 以 上

表示してあるものは、それぞれ $30 \pm 3^\circ\text{C}$ 、または $5 \pm 2^\circ\text{C}$ で試験を行なう。

- 4.3 試料は厚さ約5mm、大きさと約 $30 \times 30\text{cm}$ のガラス板上で基剤に規定量の硬化剤を加え、直ちに適当なへらを用いて均質になるように5分間よく練り混ぜたものとする。ただし、一回の練り混ぜ量は約500gとする。

5. 試 験

5.1 可 使 時 間

5.1.1 試 験 器 具

針入度計、針および試料容器 JIS K 2530 (石油アスファルト針入度試験法)に規定するもの。ただし黄銅管をアルミニウム管として落下総重量を12.5gとする。

5.1.2 試 験 方 法

試料を容器にはぼ一杯になるまで充てんする。充てんは、へら、またはナイフを用いて気ほうの入らないように十分注意して行なう。

つぎに、針入度測定用針を試料に5秒間針入させ、その針入量を0.1mmまで針入度計で測定し、針入度は針入量0.1mmを1とする。

針は測定ごとにメチルエチルケトンをしみこま

せた柔らかい布でふいたのち、さらにかわいた柔らかい布でふいて使用する。

練りませ直後から試料の針入度が120になるまでの時間を可使用時間(時間)とする。

5.2 タックフリー

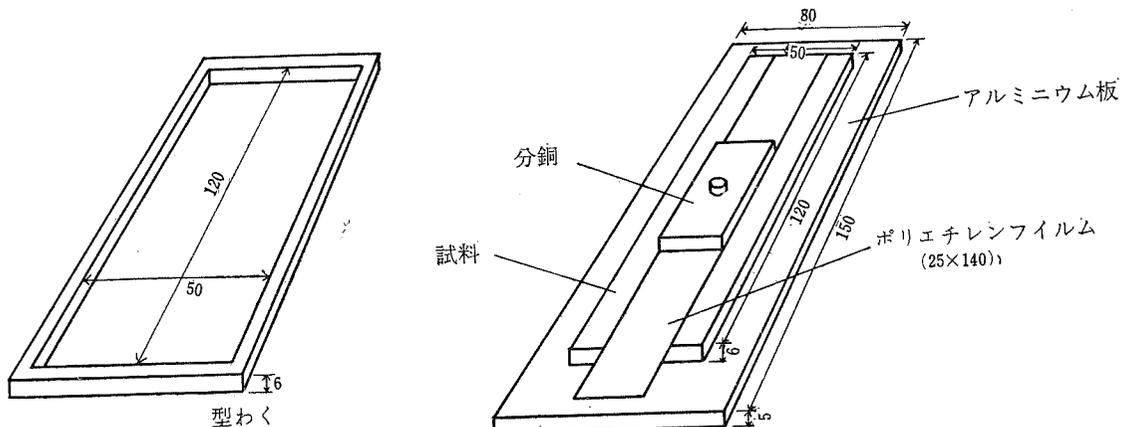
5.2.1 試験器具

- (1)分銅 銅 黄銅製で接触面積 $40 \times 25 \text{mm}$ 、重量 30g のもの。
- (2)ポリエチレンフィルム 表2および図1に示すもの
- (3)型 わく 図1に示すもの。
- (4)アルミニウム板 表2および図1に示すもの。

(表-2)

品名	J I S 番号 (種類)
普通ポルトランドセメント	R5210 ポルトランドセメント
メチルエチルケトン	K1524 メチルエチルケトン(工業用)
ポリエチレンフィルム	K6781 農業用ポリエチレンフィルム(1種)
セロハンテープ	Z1522 セロハン粘着テープ
アルミニウム板	H4172 押出形機($\text{Al}_2\text{S}_5\text{T}_5$)を用い、しゅう酸のオートクレーブによる陽極処理皮膜を施し、メタアクリレート樹脂を約 140°C で一回焼付塗装したもの。
ガラス板	R3202 ミガキ板ガラス(標準品・5ミリミガキ)
綿布	L3102 綿帆布(並綿帆布)

(図-1) タックフリー試験器具



5.3 スランブ

5.3.1 試験器具

- (1)みぞ容器 厚さ約 1mm の黄銅板製で図2に示すものとし、みぞ形内面はみがき仕上げとする。

容器はメチルエチルケトン、中性洗剤、水の順序で洗浄し、乾燥した

ものを用いる。

- (2)恒温器 温度 $5 \pm 3^\circ\text{C}$ または $50 \pm 3^\circ\text{C}$ に調節でき、間口と奥行が 45cm 以上あるもの。

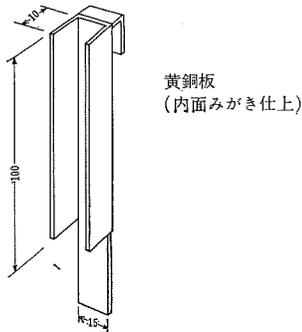
5.3.2 試験方法

試験に際し、みぞ容器を1時間以上標準状態におく。次に試料を約15分間みぞ容器に気ほう

の入らないように十分注意して充てんする。これを標準状態、 $5 \pm 3^\circ\text{C}$ および $50 \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温器中に1時間、鉛直に懸垂する⁽²⁾。スランプの値は試料の下端よりたれ下った先端までの距離(mm)で表わす。

(注) (2) 試験体は恒温器の内壁から、上下左右5cm以上離して置く。

図一 2 スランプ試験用みぞ形容器 (単位mm)



5.4 汚染性

5.4.1 試験器具

モルタル片 普通ポルトランドセメントを用いて JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)の10・によりモルタルを調製する。図3 Aに示す寸法に成形し、24時間後脱型して3日間試験室内に放置する。

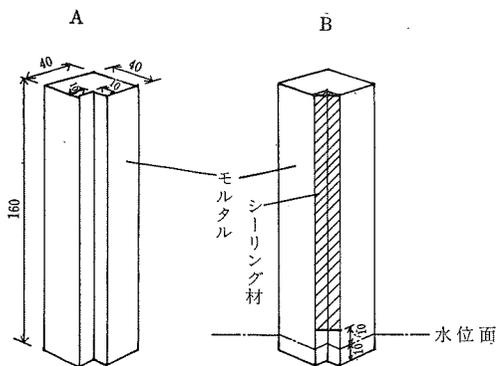
5.4.2 試験方法

試料を図3 Bに示すように、モルタル片のみぞに気ほうの入らないように十分注意して充てんする。これを標準状態で24時間置いた後、図3 Bのように清浄な水に浸せきし、7日後にモルタル面における汚染の有無を観察する。

5.4.3 合否の判定

汚染が認められない場合を合格とする。

図一 3 汚染性試験体 単位mm



備考：水深は必ず一定に保つこと

5.5 かたさ

5.5.1 試験器具

(1)かたさ試験機 J I S K 6301 (1966)(加硫ゴム物理試験方法)の5に規定するスプリング式かたさ試験機。

(2)型 わ く 図4に示すもの

(3)アルミニウム板 表2および図4に示すもの。

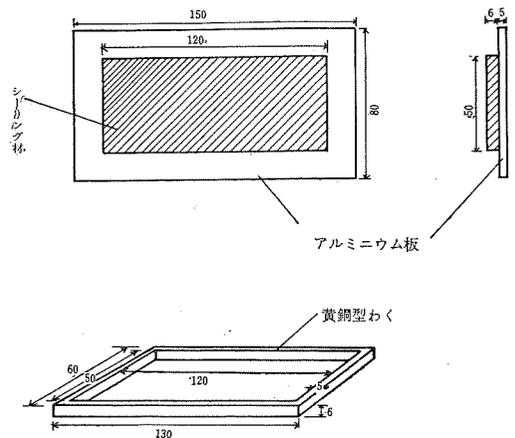
(4)恒温器 J I S K 6301の6.3.1に規定するギヤー式老化試験機またはこれに準じた装置。

5.5.2 試験方法

アルミニウム板の中央に型わくを置き、その中に試料を気ほうの入らないように十分注意して充てんし、その表面をへらなどで平らにならす。これを標準状態で14日間硬化させ、型わくをはずして試験体とする。直ちにかたさ試験機を用いて、J I S K 6301 (1966)の5.2に規定する方法でかたさを測定する。さらに、試験体を恒温器内に $70 \pm 1^\circ\text{C}$ で96時間置く⁽³⁾。恒温器から取り出し、標準状態で4時間以上冷却した後、同様にしてかたさを測定する。

(注) (3) (注) (2)と同じ

図一 4 かたさ試験体



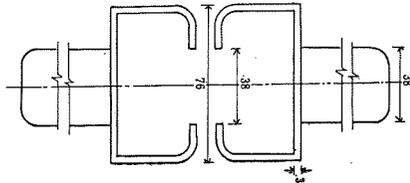
5.6 引張接着強さ

5.6.1 試験装置

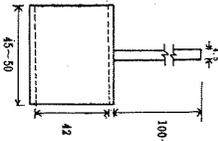
(1)引張試験機は最大荷重の指示装置を持ち、試験時の最大荷重がその能力の15~90%の範囲になるものとする。

引張速度は 5 mm/min に調節でき、試料の幅の2.5倍以上に引張れるものとする。試験機は試験体を保持するために、図5に示すようなつかみを備えたものとする。

図一五 引張接着強さ試験用つかみ



(材質は鋼板のみがき仕上げ)



(2)恒温器 5.5.1(4)に規定するもの。

5.6.2 被着体の作製

被着体はモルタル板⁽⁴⁾およびアルミニウム板、ガラス板を用い、その形状および寸法は図一六のとおりとする。

(注) (4) モルタル板はポルトランドセメントを用いて J I S R 5201 (セメントの物理試験方法) の10によりモルタルを調製し図一七に示す型わくを用いて成形し、24時間後脱型し13日間常温で水中養生してから14日間以上標準状態に放置する。

各被着体は次に示すような方法で表面を清浄にしなければならない。

(a) モルタル板⁽⁵⁾ 打込み裏面をワイヤブラシでみがく。

- (b) アルミニウム板 メチルエチルケトンで洗浄し、清浄な綿布でふく。
- (c) ガラス板 水洗乾燥後、メチルエチルケトンで洗浄し、清浄な綿布でふく。

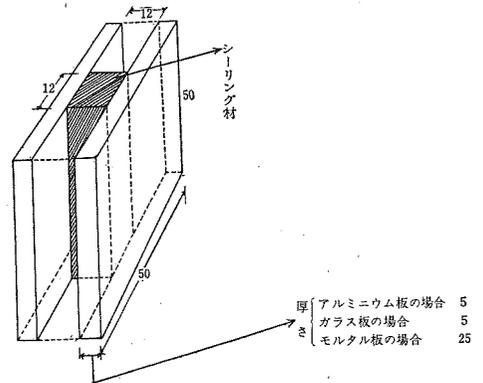
(注) (5) モルタル板には製造者の指定するプライマーを使用することができる。

5.6.3 試験体の作製

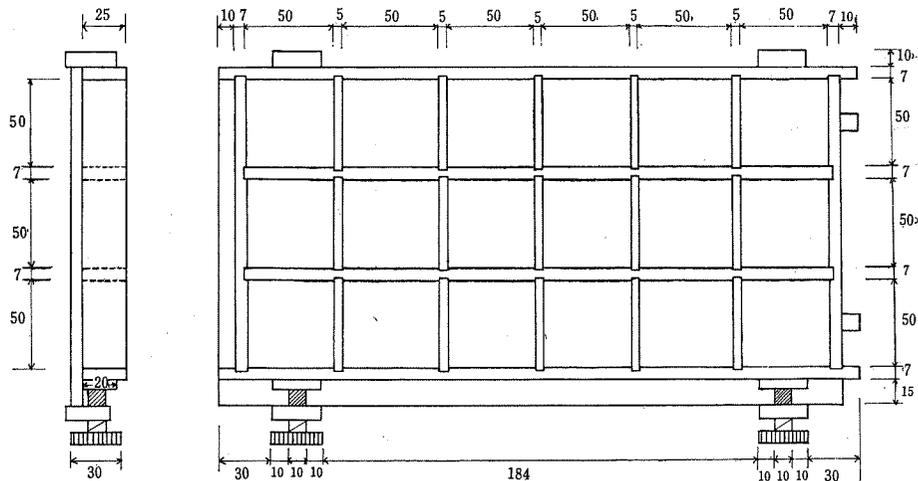
図一六に示すように2枚の被着体と2個の木製スペーサ(12×19×50mm)を⁽⁶⁾組み合わせて、12×12×50mmの空洞を作り、その空洞の中に試料を気ほうの入らないように十分注意して充てんする。木製スペーサを入れたまま試料の長さ方向を垂直にして標準状態で14日間硬化させた後木製スペーサを除去する。

(注) (6) 木製スペーサは離型を容易にするために、適当な処理を行う。

図一六 引張接着強さ試験体



図一七 モルタル板成型用型わく



材質は鋼板のみがき仕上げ)

5.6.4 試験方法

(1) 初期引張接着強さ

試験体を引張試験機を用いて、 5 mm/min の速度で引張り、試料の幅を 30 mm にひろげ、その時の荷重 $P(\text{kg})$ を測定する。

初期引張接着強さは次の式を用いて計算する。

$$\text{初期引張接着強さ}(\text{kg/cm}^2) = \frac{P}{A}$$

P : 引張荷重(kg) A : 接着面積(cm^2)

(2) 水中浸せき後の引張接着強さ

試験体を温度 $20 \pm 3^\circ\text{C}$ の清浄な水の中に試料の長さ方向が垂直になるように置いて、96時間浸せきする、水中浸せき後、直ちに5.6.4(1)により試験を行い、そのときの荷重 $P(\text{kg})$ を測定する。水中浸せき後の引張接着強さは5.6.4(1)の式を用いて計算する。

(3) 加熱後の引張接着強さ

試験体を温度 $70 \pm 1^\circ\text{C}$ の恒温器中に試料の長さ方向が垂直になるように置いて96時間加熱する。加熱後、標準状態で4時間静置してから引張試験機を用いて、 5 mm/min の速度で引張り、試料の幅を $30 + \frac{1}{0}\text{ mm}$ に広げて黄銅製スぺーサ(50×30×5 mm) 2個をはさみ、試験機からとりはずす。そのまま24時間水平に置く。次にスぺーサを取り除いてから標準状態で1時間静置後5.6.4(1)により引張試験を行ない荷重 $P(\text{kg})$ を測定する。加熱後の引張接着強さは5.6.4(1)の式を用いて計算する。上記の(1)(2)(3)の試験中にはく離または試料の切れを生じた場合は再試験を行なうことができる。

5.7 はく離接着強さ

5.7.1 試験装置

(1) 引張試験機

5.6.1(1)に規定するもので、自動記録装置を持つもの。

5.7.2 被着体の作製

被着体はアルミニウム板およびガラス板を用い、その形状および寸法は図8のとおりとする。被着体表面の清浄方法は5.6.2による。

5.7.3 試験体の作製

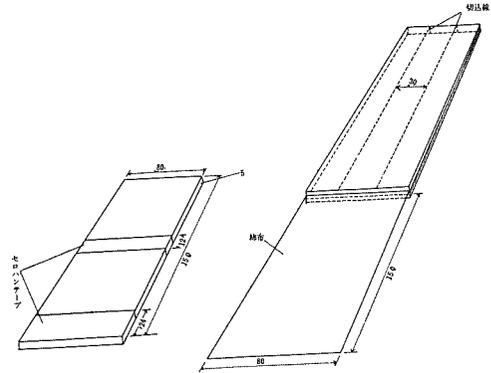
図8に示すように、被着体の端部およびその中央部において、被着体の幅方向に、それぞれ幅 24 mm と 12 mm のセロハンテープをはり、その上も含めて被着体全面に、試料を厚さ 3 mm に塗り広げる。別に、幅 8 cm 、長さ 30 cm の綿布の半分の面積(幅 8 cm 、長さ 15 cm)の表裏にへらまたはナイフを使って、試料を塗りつけてよくしみ込ませ、余分の試料は取り除く。直ちに、この綿布を被着体上に塗り広げた試料の上ののせ、さらに試料を厚さ 3

mm に塗りつけて標準状態で14日間硬化させる。被着体面および綿布上への試料の塗りつけはへら又はナイフを用いて気ほうの入らないように十分注意して行なう。硬化後、試料を綿布と共に鋭利な刃物で被着体面まで、中央部の幅 3 cm のはく離部分を残して両側に幅 2 mm 以上の切り込みを入れ、端部のセロハンテープの部分をはがす。

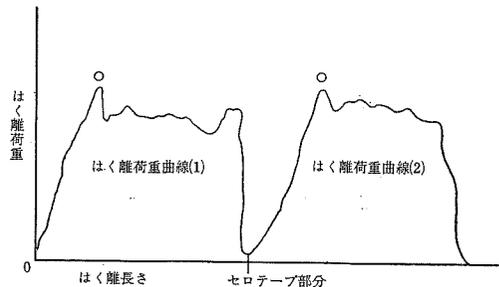
5.7.4 試験方法

はく離接着強さは、図9の試験機の記録チャートの例図に示されたようにして、1個の試験体当たり2つのはく離荷重曲線について、それぞれの曲線の波状部の最初の頂点(図9の○印の箇所)を除く各頂点(数値の高い側)の平均値とする。

図—8 はく離接着強さ試験体



図—9 はく離接着強さと記録チャートの例



5.6 引張復元性

5.6.1 試験装置

(1) 引張試験機

5.6.1(1)に規定するもの。

(2) 恒温器

5.5.1(4)に規定するもの。

5.6.2 試験体の作成

ガラス板を用い、5.6.2に規定する方法で被着体を作成し、5.6.3に規定する方法で試験体を作製する。

5.6.3 試験方法

試験体を $50 \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温器中に試料の長さ方向が垂直になるように96時間置く⁽⁷⁾。その後、標準状態で同じように4時間置いた後、引張試験機を用いて約 5 mm/min の速度で試料の幅を 30 mm に広げ、そのまま5分間保つ。次に試験体を試験機からはずして、試料の長さ方向が垂直になるようにガラス板の上に置き、1時間後の試料の幅 $L(\text{mm})$ を測定する。

引張復元性 (mm) は次の式により求める。

$$\text{引張復元性}(\text{mm}) = 30 - L$$

(注)(7) (注)(2)に同じ。

6. 検査

検査はJIS Z 9001(抜取検査通則)によってロットの大きさを決定し、各試験ごとに3個の試験体とって行なう。

タックフリーは3個とも合格のときはそのロットを合格とする。

スランプ、かたさ、引張接着強さ、はく離接着強さ、および引張復元性は次の式を満足すればそのロットを合格とする。

$$\bar{X} \leq S_U - 1.6\sigma \text{ または } \bar{X} \geq S_L + 1.6\sigma$$

ここに \bar{X} : 3個の測定値の平均値

S_U : 表1に示された上限規格値

S_L : 表1に示された下限規格値

σ : 標準偏差で一般には工場における過去のデータから求める。検査データがなく、標準偏差未知の場合には試験体の大きさを7個とし、次の式によって求める。

$$\sigma = 1.07 \times \sqrt{\frac{X_1^2 + X_2^2 + X_3^2 + X_4^2 + X_5^2 + X_6^2 + X_7^2}{7} - \bar{X}^2}$$

ここに σ : 標準偏差

X_1, X_2, \dots, X_7 個々の測定値

\bar{X} : 7個の測定値の平均値

表1に示された規格値が上限で示されている試験は \leq を用い、下限で示されている試験は \geq を用いる。各試験によって得られた試験成績はJIS Z 8401(数値の丸め方)によって数値を丸める。

7. 表示

シーリング材は、各容器ごとに商品名、容量、製造工場またはその略号およびその製造年月日またはその略号、その使用温度範囲ならびに可使用時間を明記しなければならない。なお、プライマーを使用する場合は、プライマーの種類を明記しなければならない。

シーリング 風流抄

またのごげん

またのごげんをたのしみに
帰したあとでふうわり鶉が鳴く
きみはいま駒形あたりなんとなく
昔もいまも変らじと
人の情と恋のみち

小唄という名称は文献でみると平安朝時代からあり、当時宮廷の式楽を大唄といい、民間の歌謡を小唄と
いったと、学者はいますが、こんにちいうところの小唄はそれとはちがっておもに幕末頃に民間の誰彼が自由に作詞して、三絃に合わせて

唄ったもので、長唄に対して短編の流行歌謡をいいます。主として遊女のせかれせかれた切ない恋心が、心のつぶやきとして唄われております。そうした女心は、もはや過去のものとなったようですが、それだけになおさら郷愁をそえられるのかわれません。

◇

この唄はやはり廊女の心のつぶやきですけど、そっくりそのまゝ現代の恋する女の心とっていいでしょう。

「きみはいま駒形あたり」というのは、有名な高尾太夫の「きみはいま駒形あたりほととぎす」にかけたもの。

その頃の吉原から歩いて丁度その時分、浅草駒形あたりになったらしい——

ミニスカート姿で銀座をカッポするハイテン嬢にも恋の逢瀬のよるこびと悲しみはあろうというもの。「きみはいまヴェトナムあたり」とならぬよう祈るや切です。

日本建築学会建築工事標準仕様書

JASS防水工事

4節 シーリング材工事(案)

日本建築学会建築工事標準仕様書のJASS防水工事に第4節としてシーリング材工事の項が設定されるにあたり下記の委員によって、先づその原案がこの7月に完成しました。ここに同原案を波多野一郎主査の御許可を得て掲載いたしますが読者の方で御意見があれば、日本シーリング協会事務局宛におきかせ下されば幸甚です。

日本建築学会材料施工委員会 第二部科会JASS防水工事 4節

コーキング・シーリング工事委員会

主査 波多野一郎(千葉大学工学部建築科)

幹事 本間 正直(建設省関東地方建設局工務検査課)

委員 青山 幹(大林組技術研究所)

大沢 正俊(横浜ゴム(株)接着剤工場)

大浜 嘉彦(建設省建築研究所)

加藤 正守(千葉大学工学部建築科)

小西 昭男(小野田ユニロン(株)技術課)

委員 高木暢太郎(竹中工務店技術研究所)

塚田 邦夫(セメダイン(株))

鶴田 裕(大成建設技術研究所)

仁平 久信(鹿島建設技術研究所)

野口 八朔(添加剤工事(株))

平泉 徳雄(高分子加工(株)工場長)

丸一 俊雄(清水建設研究所)

村松 正(ハマシール工業(株))

古川 久之(日本シーリング協会)

4節 シーリング材工事(案)

8・4・1 適用

本仕様は防水などを目的として建築物の部材と部材との接合部分、その他にシーリング材(油性コーキング材または弾性シーリング材)を用いる工事に適用する。ただし、本仕様によりがたい場合、材料、工法などは特記による。

8・4・2 材料の保管

現場搬入後の材料および使い残りの材料は、直射日光を避け、雨露のあたらない場所に保管する。

8・4・3 養生

工事中および工事完了後は係員の指示に従い、ほこりの付着、損傷、汚染などのないように養生する。

8・4・4 下地および天候

a 下地

シーリング材を施工する下地の状態は、下記を標準とする。

1. 指定の目地寸法になっていること。
2. 平たんで、そり、目違い、突起物などのないこと。
3. シーリング材の付着性を著しく阻害するおそれのある油分、塗料、さび、不純物およびほこりなどが付着しているものは十分に除去、清掃する。
4. 十分乾燥し、かつ、表面温度が充てんに適していること。

b 天候

天候が下記の場合は、原則としてシーリング材工事を行ってはならない。やむを得ないときは係員

の指示に従う。

1. 降雨雪および施工中に降雨雪が予想される場合
2. 気温が著しく低く、施工に支障をおよぼす場合
3. 強風で施工に支障をおよぼす場合

8・4・5 油性コーキング材工事

a 材料

1. 油性コーキング材は、JISA5751建築用油性コーキング材の規格に適合するものとし、その種類色合いなどを指定する場合は特記による。
2. JIS以外の油性コーキング材を指定する場合は、特記による。
3. 油性コーキング材の製造業者を指定する場合は特記による。
4. プライマーは、油性コーキング材の製造業者の指定するものとする。
5. バックアップ材(裏込め材)の種類、材質、および形状などは特記による。 *見ものとする*

4. 養生テープは係員の承認を受けらる。

(次回に検討する)

b 試験

試験を行なう場合は特記による。

c 工法

1. 施工業者を指定する必要がある場合は特記による。
2. バックアップ材は目地が深い場合、目地が貫通している場合などに図示によりプライマーを塗布する前に取付ける。

経時

3. 付着性の悪い下地、または形動的に付着強さを低下させるおそれのある下地にはプライマーを塗布する。
 4. 表面養生あるいは目地縁の線を正しく仕上げるために、養生テープを張る場合は、原則として、プライマーを塗布した後に行なう。
 5. 充てんは、シーリングガンを使用するのを原則とする。目地の場合は、完全に充てんされるように加圧しながら施工する。充てん後へら押えを行ない、表面を平滑に仕上げる。
 6. 養生テープは施工後、直ちに取はずし、テープあとを清掃する。充てん個所以外に油性コーキング材が付着した場合は、直ちにトルエンなどで清掃する。
 7. 油性コーキング材と他のシーリング材とを併用する場合は係員の指示による。
- 8・4・6 弾性シーリング材工事
- a 材料
1. 弾性シーリング材は、J I S A ○ ○ ○ ○ ○, J I S A × × × × および J I S A △ △ △ △ の規格に適合するものとし、その種類色合いなどを指定する場合は特記による。
 2. J I S 以外の弾性シーリング材を指定する場合は特記による。
 3. 弾性シーリング材の製造業者を指定する場合は特記による。
 4. 二成分型弾性シーリング材の基材および硬化剤は同一製造業者の製品とする。
 5. プライマーは弾性シーリング材の製造業者の指定するものとする。
 6. バックアップ材（裏込め材）の種類、材質および形状などは特記による。
 7. 養生テープは係員の承認を受ける。たものとする
- （次回に検討する）
- b 試験
試験を行なう場合は、特記による。
- c 工法
1. 施工業者を指定する必要がある場合は特記による。
 2. バックアップ材は目地が深い場合、目地が貫通している場合などに図示により、プライマーを塗布する前に取付ける。
 3. 付着性の悪い下地または、形動的には付着性の強さを低下させるおそれのある下地にはプライマーを塗布する。経時
 4. 表面養生、あるいは目地縁の線を正しく仕上げるために、養生テープを張る場合は、原則としてプライマーを塗布した後に行なう。
 5. 二成分型弾性シーリング材は製造業者の定める配合比に従って可使時間に見合った量を計量し十分混練する。
 6. 充てんはシーリングガンを使用するのを原則とする。目地の場合は、完全に充てんされるように加圧しながら施工する。
 7. 養生テープは施工後直ちに取はずし、テープなどを清掃する。充てん個所以外に弾性シーリング材が付着した場合は、直ちにトルエンなどで清掃する。
 8. 弾性シーリング材と他のシーリング材とを使用する場合は係員の指示による。

＜訂正＞

日本シーリング協会のあゆみ

創刊号年表中に下記の部分が脱落していました。お詫びして訂正いたします。

昭和38年10月 会長及び副会長の改選が行われ次のように決定した。

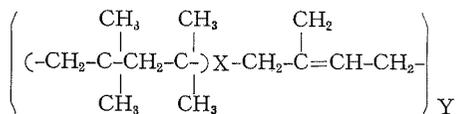
会 長	日本添加剤工業（株）
副会長	明星工業（株）
副会長	日本ユニロン（株）—現在小野田ユニロン（株）

昭和39年3月 会長及び副会長の改選が行われ次のように決定した。

会 長	明星工業（株）
副会長	日本ゴーレックス工業（株）—現在鐘淵合成化学工業（株）
副会長	日新工業（株）

ブチルゴムシーラント (butyl rubber sealant)

ブチルゴムはIIRとも呼ばれるように、イソブチレン (Isobutylene) に1~3%イソプレン (Isoprene) を共重合させて製造する合成ゴムで、



なる化学構造を有し、不飽和度が小さいので、優秀な耐候性、気体不透過性、耐熱性、耐薬品性を持ち、これを主原料としたシーリング材もこれらの諸性質を備えている。ブチルゴムをベースとしたシーリング材は、1成分型で施工後自己加硫(硬化)する弾性シーラントと完全加硫物を用いるひも状(またはリボン状、テープ状)シーリング材がある。まず、前者から解説することにする。

1成分型ブチルゴムシーラントには、溶剤型とエマルジョン型の2種類があるが、使用量は前者の方が多いようである。このシーラントの全般的な特性からみると、性能的には弾性シーラントと油性コーキング材との中間に位するようである。溶剤型ブチルゴムシーラントは、自己加硫型ブチルゴムをビヒクルとし、これに加硫剤、充てん剤、顔料、可塑剤、溶剤などを加えてよく練り混ぜて製造するもので、色は灰、黒、アルミなどがあり、一般に、カートリッジ入りで市販されている。施工すると、常温では1~24時間でタックフリーとなり、溶剤が徐々に蒸発しながら硬化していく。清浄な表面であればたいの建築材料によく接着するが、コンクリートや

石材などの多孔質材料に対しては、他の弾性シーラントと同様、専用のプライマーを用いた方がよい。きわめて耐候性がすぐれ、耐用年限は10~20年といわれ、また、その貯蔵安定性は6カ月である。このシーラントの一大欠陥は、必要な流動性を与えるために、15~40%の溶剤を含有するので、硬化時の収縮が他の弾性シーラントに比べてきわめて大きいことと、溶剤の蒸発期間は火気に注意する必要があることである。したがって、施工に際しては、最終のシール体積よりもかなり多い目に充てんしなければ、肉やせするおそれがある。溶剤型ブチルゴムシーラントのこのような欠陥を改善する目的で、最近、開発されたのがエマルジョン型ブチルゴムシーラントである。これは、施工後、含有水分が蒸発または材料に吸収されて硬化し、すぐれた弾性、接着性、防水性、耐薬品性、耐候性を示す。含有水分は約15%で、硬化過程でこの程度の収縮が起こる。この種のシーラントに適する用途としては、コンクリート、ALC、木材、石材スレートなど多孔質材料で、吸水性の大きい材料から成る目地がある。

ひも状シーリング材は、ブチルゴムを主原料とし、場合によっては合成樹脂、アスファルトなどを加えて、これに、カーボンブラックなどの充てん剤を練り混ぜて加硫し、そのままあるいは荒目の布をしんとして、断面形状を丸形または角形に成形したものである。ひも状シーリング材は、色は黒、灰などで、加圧すると容易に変形する能力、弾性、接着性、耐候性などがすぐれている。しかし、耐溶剤性は良好でない。製品は相互の付着を防止するために、離型紙といっしょに巻かれており、施工時には、これをはがして用いる。

1成分型ブチルゴム系シーラントの試験成績
(ソニーケミカル社製デュアリボン4040のデータ)

試験項目	試験結果	
かたさ (ショアA)	1週間後	0
	10年後	0
蒸気通過率 (0.04"厚のフィルム)	0.01 g/day	
吸水率 (0.04"厚のフィルム)	0.03% (50°Cの水中に28時間浸せき後)	
伸び	初期	500%
	一定期間経過後	500%
復元性 (変形されてから)	5秒以内に最小50%	
接着性	優秀	
耐候性 (フロリダにて屋外暴露1カ年)	優秀	

1成分型ブチルゴム系シーラントの配合

原料名	配合比(重量)
ブチルゴム (POLYSAR BUTYL100)	100.0
dicumyl Peroxide	5.0
炭酸カルシウム	150.0
アスベスト短繊維	10.0
タルク	50.0
酸化チタン	25.0
パラフィンワックス	10.0
tetramethyl thiuram disulfide	0.1
イオウ	0.1
以上の材料を149°Cで3時間、加熱処理する。	
グレー	8.0
Paraffinic Petroleum oil	20.0
石油樹脂	35.0
トルエン	36.0
ナフサ	16.0
常温で混合し、1成分型として製品にする。	

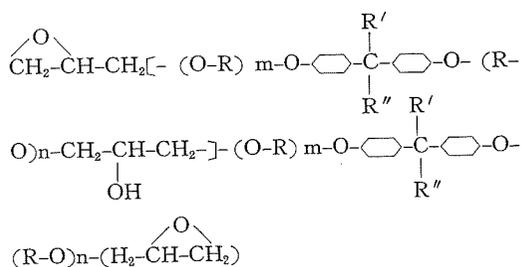
エポキシシーラント

(EPOXY Sealant)

エポキシ樹脂は、一般的に保護コーティング、強化プラスチック、接着剤、充てん剤、他樹脂の安定剤のほか、各種工具、注型・埋込みなどの特殊用途を含むきわめて広範囲な用途があるが、近年ますます重要性を増している分野に建築、土木への応用がある。

たとえば、最近では原爆ドームの保存工事に、また地下鉄工事のコンクリート・セグメントの継ぎ目に、エポキシ・コーキング材が採用されるなど、この方面の作業例は、そのすぐれた特性、たとえば、高強度、良好な耐薬品性および卓越した接着性はよく知られているところである。しかし、弾性係数が大きすぎ、たわみ性や弾性が欠如することが大きな欠陥であったが、これらの諸点を改善し、常温硬化後はゴム状弾性あるいはそれに近い弾性を有する新しいエポキシ樹脂が開発され、わが国でも、これをビヒクルとした弾性シーラントが開発されている。

エポキシシーラントはいずれも2成分型で、基剤と硬化剤から成るものであるが、ビヒクルとして長鎖エポキシサイド化合物



を用いるものと、三次元化天然ゴムラテックスとジエポキシ化合物とのグラフト重合体エマルジョンを用いるものとの2種類があり、色はアルミ、黒などがある。

施工にあたっては、基剤と硬化剤を正確な混合比でよく練りませ10分間程度放置してから、ナイフまたはガンを用いて充てんする。硬化時間は、加温または適当な促進剤の添加により短縮できるが、普通可使時間は4~8時間である。

エポキシシーラントは体積収縮が少なく、耐水性、耐アルカリ性がすぐれ、水分が存在しても完全に硬化し、優秀な接着性を与え、長期間にわたってゴム状弾性を保持する。一般に、エマルジョン型エポキシシーラントの方が大きいゴム状弾性を有し、経時硬化せず、安価に製造できるようである。しかし、いずれの製品もまだ試作段階のもので、今後の研究、開発に待つところが多い。

ゴム状エポキシシーラントの品質試験結果(清野)

試 験 項 目	一般のゴム状エポキシシーラント		エマルジョン型ゴム状エポキシシーラント	
	A	B	A	B
か た さ (シヨアA)	—	75	37	45
引 張 強 さ (kg/cm ²)	47	31	32	38
伸 び (%)	145	163	308	270
引張せん断強さ (kg/cm ²)	115	63	22	27
はく離接着強さ (kg/2.5cm)	8.1	8.1	8~10	8~10
付 着 力 (kg/cm ²)	9.9	9.0	12	13
復 元 性 (%)	86	85	100	100
吸 水 率 (%)	—	0.028	0.094	0.086
ウェザオメータ 400hrs. 後				
{ 引 張 強 さ (kg/cm ²)	—	100	35	40
{ 伸 び (%)	—	12	168	162

用語解説

収縮率 (Shrinkage)

油性コーキング材の体積収縮、いわゆる「やせ」の程度を示す術語である。油性コーキング材の収縮はその中に含まれる可塑剤、溶剤などの揮発や遊離によって起こる。収縮率の大きいものは、充てん後の目地あき、付着性および耐候性の低下に影響し、はなはだしい場合には漏水の原因となるので、油性コーキング材の性能判定上、非常に重要な特性値である。したがって、JIS A 5751「建築用油性コーキング材」にもその試験方法および規定値が定められている。収縮率は多くの場合、油性コーキング材によく用いられる術語であるが、この他、弾性シーラントのうちでも、ブチルゴムシーラントのように多量に溶剤を含むものについてはこの特性値を考慮する必要がある。

保油性 (Oil retention)

目地に充てんされた油性コーキング材がその接触する部分に対して、その組成に含まれる油脂分を保持する程度を示す術語である。いいかえれば、油性コーキング材から油脂分を分離する傾向を示すものである。目地構成材料に油脂分が吸収されると、材料にその汚点を残し、油性コーキング材自体の組成も変化するので、硬化やきれつ発生の原因となり、付着性、耐候性、収縮率などにも影響を与える。JIS A 5751「建築用油性コーキング材」に、その試験方法および規定値が定められている。

付着性 (Bond)

充てんされる目地を構成する材料に対する油性コーキング材の付着の程度を示すもので、油性コーキング材にとって重要な性質の1つである。付着性が不良であると、目地の動きによってはがれ、防水、気密の役目はたさなくなる。JIS A 5751「建築用油性コーキング材」にその試験方法および規定値が定められている。

硬化率 (rate of hardening)

目地に充てん後、油性コーキング材がかたくなる（硬化する）程度、すなわち、油性コーキング材自体の変質の度合を示す術語である。この特性値が大きいものは、早期に柔軟さを失い、耐候性と付着性に悪影響を与える。油性コーキング材の老化現象に対する1つの指針と

なる。JIS A 5751「建築用油性コーキング材」にその試験方法および規定値が定められている。

きれつ (cracking)

目地に充てん後に生ずる油性コーキング材自体の変質の一種である。きれつは硬化率が大きく、付着性の貧弱なものに発生しやすく、発生すると防水上の一大欠陥となる。JIS A 5751「建築用油性コーキング材」にその試験方法および規定値が定められている。

耐アルカリ性 (alkali resistance)

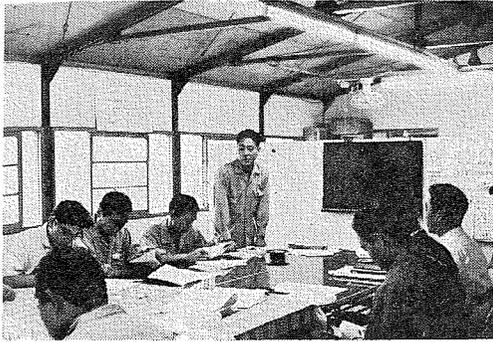
油性コーキング材は、モルタルやコンクリートなどセメント製品に接する箇所に施工されることが多く、セメントのアルカリに対する安定性が要求される。そこで、油性コーキング材の油脂分がアルカリによる変質に耐える程度を示すのがこの術語である。油性コーキング材がアルカリに対して不安定であれば、付着性の低下、変質をきたし、シーリング材としての役目を果さなくなる。JIS A 5751「建築用油性コーキング材」には、その試験方法および規定値が定められている。

アスファルト系コーキング材 (ASPHALT·caulking·Compounds)

油性コーキング材の主成分である油脂などの代りに、アスファルトを用いたコーキング材である。建築では、陸屋根などの目地に使用する。ブローンアスファルト（アスファルト防水層を施工する時用いる接着用アスファルトの原料と同じもの）溶材でとかした展色材に石綿を含む鉱物質充てん材を混合し、適当な粘度に調整したものでルーフコーティングともいわれている。

施工は、熱しないでそのままハケ、ヘラ等によって塗装する。

溶剤の揮発による溶積収縮が大きく、高温になるとタレ易くなる。露出して使用した場合は特に紫外線の直射をうけると老化し易い。油性コーキング材にくらべて安価である。



<会場風景>

油性コーキング材の 性能と施工法

「シーリング材講習会」より

昭和42.6.22

於：日本住宅公団金町工事事務所

はじめに編集部から

古往今来建築の主眼が雨露のしのぎにおかれてきたことは疑いもない事実である。

建築の構造、工法、材料等が長足の進歩をとげた現在においても、雨漏りとの宿命的対決はなお続けられ一層激しさを増している。

かつて、漆喰、モルタル、麻、木材あるいはガラスパテ等によって代表されていた水密材が、今日いわゆる油性コーキング材に変わり始めたのは、本邦では、昭和25～26年頃であり、国産品の出現と共にその需要が急増していった。

また弾性シール材としては、昭和30年前後より二成分型ポリサルファイドシール材が輸入され次いで一成分型シリコンシール材が入邦された。

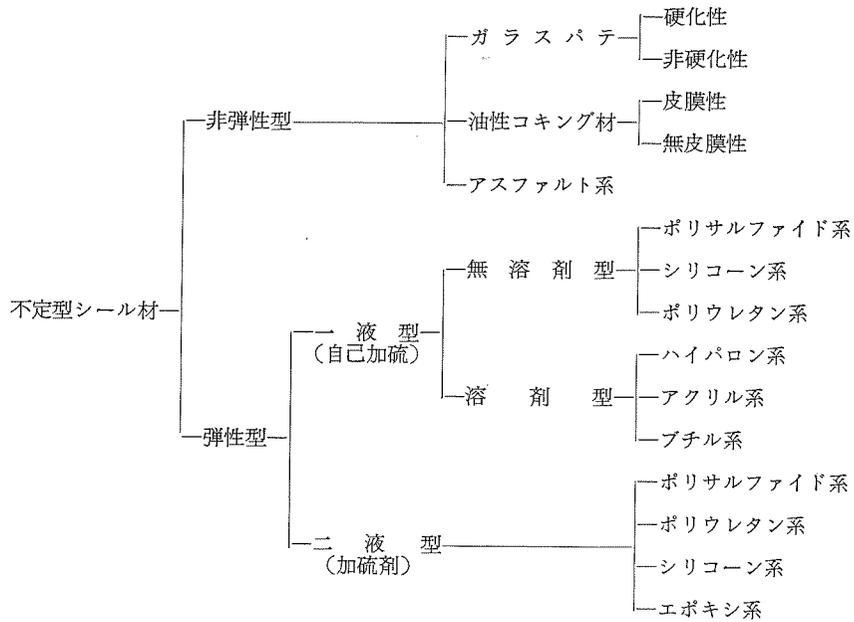
しかし弾性シール材の本格的需要は、昭和35年国産品の出現からであり、今日では、一成分型シール材としては、シリコン、ポリサルファイド、ポリウレタン、ブチル等が市場にあり、二成分型シール材としては、ポリサルファイド、ポリウレタン等が優位性を占めている。

この他アクリル、ハイパロン、エポキシ等のシール材も開発途上にあり、今やそれぞれのシール材の適応性、撰択基準を問われるような事態になっている。

今回は、これら多岐多様にわたるシーリング材のうち需要量の過半数を占め、普及度も高く、材質的にも、施工的にも安定度の高い油性コーキング材に焦点を合わせ、ユーザーとして発注量の最も多い日本住宅公団との提携によって、さる6月22日住公金町工事事務所において開催された「シーリング材講習会」の席上における公団側と協会側の一問一答の主だったものを紙上収録した。

いうまでもなく質問は公団側から、解答は協会側ということである。(出席者は33頁協会ニュース欄)

表1 建築用コーキング材並びにシーリング材の分類



油性コーキング材とは何か

—大変初歩的な質問ですが、まずシーリング材とは何か？とくに油性コーキング材とは何か？というところからおうかがいしたいのですが。

『シーリング材には大きく分けて二通りありまして、コーキングガンあるいはシーリングガンのようなもので、不定形なものを充てんするような材料と、成形されたりポン状のものを詰めるものとあります。

このうち現在多用されているのは、コーキングガン、あるいはシーリングガンを使って詰めるものですが、その材料は、さらに二通りに分かれ、いわゆる油性のコーキング材と人工の合成樹脂あるいは合成ゴムを主体とした、いわゆる弾性シーラントといっているものに分かれます。

この関係は表1に示しましたが、本日の主題が「油性コーキング材の性能と施工法」ということですから、以下主題に沿ってご説明してみたいと思います。

油性コーキング材の組成

まず油性コーキング材について説明いたしますと、いわゆるコーキングまたはコーキングコンパウンドと呼ばれるもので、天然および合成の油脂または樹脂、アスファルトなどの液状展色材と、石綿、炭酸カルシウム、亜鉛華などの鉱物質の充てん材を混合して製造する一成分型マスチック状シーリング材であります。

施工後はほとんどのものが薄い表面皮膜を形成しますが、内部は永久柔軟性を有し、いつまでも粘性、付着性が劣化しません。

色はほとんど灰白色ですが、白色、黒色などもできます。その種類は施工後、表面に皮膜を作る皮膜性のものと、表面皮膜を作らない無皮膜性のものとがあるが、一般に使用されているものは前者がほとんどです。また、使用する施工用具からはガン用とナイフ用コーキング材に、施工する季節からは夏用と冬用のコーキングに分類出来ます。一般組成については表2を参照願います。

表2 油性コーキング材の一般組成

液状展色材	皮膜形成材	ボイル油、乾性油、変性アルキッド樹脂等
	恒軟性付与材	ポリブテン等
	粘着性付与材	ブチルゴム、石油レチン等
	稠度調整剤	チクサトロール、界面活性剤等
鉱物質充填材	隠蔽材	チタン白、亜鉛華等
	着色材	カーボン、群青、ベンガラ鉛丹等
	充填材	炭酸カルシウム、石綿、タルク等

表3

試験項目	JIS規格値	種											類			
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M		
収縮率%	7以下	2.4	6.6	3.4	5.7	1.7	1.7	4.1	3.1	0	4.0	0.7	5.0	2.7		
保油性	しん透巾 (mm)	5以下	3.0	3.0	0	2.5	1.0	3.5	1.5	7.0	7.0	0.5	0.1	4.5	1.0	
	枚数 (枚)	3以下	2	3	1	3	1	2	1	2	3	1	1	2	1	
スランプ(mm)	3以下	2.8	1.0	1.0	落下	落下	1.3	0.8	落下	1.5	2.0	1.3	2.0	2.5		
付着性	合格	合格	不合格	合格	合格	合格	合格	合格	不合格	不合格	合格	合格	不合格	合格		
硬化率(%)	30以下	15.1	18.7	2.4	35.4	11.3	3.8	7.2	11.9	31.6	9.1	2.9	17.1	1.6		
きれつ	合格	合格	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
耐アルカリ性	合格	合格	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		

油性コーキング材の品質ならびに JIS 規格

—市販の油性コーキング材の品質管理問題の基準について説明して下さい。

『油性コーキング材に関しては、アメリカ連邦規格等もありますが、試験法、規格値などは、JIS A5751—1966の規格に合格しなければなりません。このJIS改正に際し品質に関して、各所の研究機関で13種類の油性コーキング材の試験を行った結果を表に示すと表3の如くになります。

以上の結果は1965年秋に行ったもので現在の油性コーキング材はJIS指定工場（編集部注、昭和42年7月22日付をもって建築用油性コーキング材JIS指定工場は全国で7工場認可された。いずれも日本シーリング協会員）の問題から一段と性能が向上しています。

なおJIS—A—5751—1966以外の試験として、われわれは作業性試験を行ってみましたが、その結果は3～10gr/sec/30°C（10φのノズルをP1kg/cm²の吐出圧をかけた時の値）で相当程度の差が認められました。

これは、各メーカーが、冬期と夏期において、油性コーキング材の作業性を考慮していることにもとづくもので、一般に冬用で6—10gr/sec、夏用で3～7gr/sec位に仕立られています。

冬用、夏用あるいは一般用と製品軟度を変更される方法としては、

- 1) 液状展色材と、鋳物質充填材の相対量比を変化させる。
- 2) イ. 液状展色材と、鋳物質充填材の相対量比は変化させず液状展色材の粘度を変化させる。
ロ. 液状展色材と、鋳物質充填材の相対量比は変化させず、鋳物質充填材の質を変化させる。
ハ. 液状展色材と、鋳物質充填材の相対量比は変化させず、鋳物質充填材の内分比を変化させる。

等の方法が考えられますが多くのメーカーは2)のイ、ロ、ハのいずれかの方法によっているものと思われる。それゆえ、夏用、冬用あるいは一般用は、基本的性質はそこなわれる懸念はありません。

油性コーキング材の諸問題

—品質的な問題についてはよくわかりましたが、実際の施工上の問題になると、われわれユーザーにとってまだよく理解出来ぬことが多いのです。

雨仕舞や気密は万全なのか、耐久性はどうか、作業性はどうかといったこまかい点になると適当な資料もありませんし、現場の作業員にきいても明快な返事はもらえないわけです。

耐久性の問題だけをとってみましても、さきほどのご説明から建築用コーキング材としては、JISの規格はかなり高度なのだと思いますが、実際にはかなり故障例がでていいる。どうもJISの規定といひましても、結局は最底限の保障をしているだけではないのか。またカタログなども各社の試験データが記載されていますがどの程度の信憑性があるものなのか。そういう事柄はカタログからは読みとれないので困っているのです。

そこで、油性コーキング材の当面している諸問題について、ことこまかにご説明願いたいのですが。

『おっしゃるように、油性コーキング材ばかりでなく、他のシール材にしても、建築材料として登場してから日が浅いために、材質面でも、施工技術面でも未解決な面が多々ありまして、当協会でもその解決に全力を注いでいるのですが、そのためにはユーザーにおかれても、正しい認識のもとに材料の選択をされるようお願い申上げる次第です。

大ざっぱに言ってコーキング材は用途としては大部分雨仕舞に使われている。そのほかにエアタイト、それからもう一つはいろいろな部材を防護するという意味で部材が破壊しないような使い方をします。その他コーキング材を充填することによって化粧的あるいは材料的にうまく使えるという形などありますが、結局は、問題点としておのおの性能を満足させるための方策は何かないかということですが、まず建物をつくる場合、設計がどうしても問題になりますので、コーキング類は必ず目地に充てんする材料ですから、目地の大きさを一体どの程度にきめるかが重要な問題になるだろうと思います。

これは極論かもしれませんが、変形上の問題にしても耐久上、施工上の問題にしても、目地の大きさが決まりそれが精度のよいものなら、あとは実際にコーキングを詰める施工者の努力によってなんとでもなると考えられます。

国産のコーキング材が使用され始めてから10数年を経過していますが、この間われわれはアフターケアにより、あるいは施工現場において多くのことを学んできました。その結果をきたんなく発表すると油性コーキング材には次の諸点に問題があるように思われます。

品質面からみた問題点

1) 耐候性

油性コーキング材は、液状展色材としてボイル油または乾性油、変性アルキッド樹脂を使用しているため、空気中の酸素と作用して皮膜を形成し、ついには硬化する。恒軟性付与材は加えてあるものの、長期にわたっては相当硬化が進行することは否めません。アフターケアの結果によれば、それぞれ条件によって硬化の度合、耐候性が異って表われますが、シビアな条件においては5年、一般の条件においては7年を水密の安全耐用年数と考えるべきでしょう。もちろん目地構造、被着材質、施工精度によりおのづから相異はありますが、一応の目安としては10年後には補修あるいは再充てんを考慮に入れておく必要があります。

2) 作業性とスランプ

油性コーキング材は、不定形ミゾへの充てんを要求されるため、おのづからペースト状をとらざるを得ませんが、目地形状如何によっては付着か、凝集力が少ないためスランプしがちです。先に申し述べたように油性コーキング材の作業性は3~10gr/sec/30°Cですが、これらの油性コーキング材で許容される目地形状はおおよそ次のごとく考えられます。

表4

作業性 gr/sec/30°C	許容目地形状	被着材質
3~5	25×15	モルタル
5~7	20×15	
7~10	15×10	

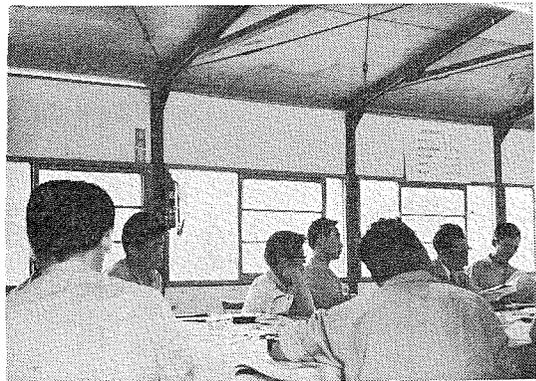
もちろんスランプは被着材質により異り、金属はモルタルに比較してスランプし易い。

3) 付着性

油性コーキング材の付着性は、主として液状展色材の粘着と投錨効果に起因するためその付着性は極めて弱い。それ故付着面積をなるべく大にし、付着を完全にしなければなりません。凸凹はなほだしい面、多孔質面は付着を障害するのであらかじめ平滑な面にし、出来得ればプライマー処理する事が望ましい。

施工面からみた問題点

施工についてお伺いしたいのですが、この手元にある協会誌「シーリング」に標準施工仕様書というものが載っています。これは、私どもの考えではメーカー直属の施工員のために正しい使い方を教えるというか、よりどころとするものだと考えますが、品物だけ買ってきて、現場で自分のところの大工さんなり、ブリキ屋さんなりあるいは左官屋さんなりに窓まわりをちょっとやらせるといった場合などにどんな注意が必要ですか。問題点を具体的にご説明下さい。



『てまえどもとしましては、その標準施工仕様書さえごらん載けば建築にたづさわる方ならどなたにもご理解願える、さように考えておりますが、補足的に申し上げますと、油性コーキング材は、その(材)という文字からも示されるように材料であり、施工を待たなければ完全な製品とはいいい切れません。したがって油性コーキング材の性能を十分発揮せしむるためには、よりよい施工が必要です。施工面からみた問題点としては、以下のことが重要であります。まず目地棒がとってないもの、目地が切っていない場合底面が凸凹の場合がありますが、これは平滑にならさす必要があり、下地処理としては石くづを目地形状よくとってプライマーを塗布すべきです。

目地形状

また目地が切られてなく、三角打ちをよくなくされる場合は論外ですが、往々にしてコーキング受けのない目地空洞のある目地がありますがよくつけねばなりません。このような目地へコーキング材を充填すると、被着材質へコーキング材が充分密着しないため、収縮、スランプ、フクレ等を誘起し易い。また極端に広い目地(ブレコン等にみられる40×20mmの場合、これは特別仕様)への充填は、通常品ではスランプを起し易いので注意を要します。また7mm以下の浅い目地は、コーキング材の耐候性(条件によって異なるが最少3年~15年)ともからんで問題が多い。最底10×10mm 1歩ゆずって8×10mm深さの目地が望ましいと考えます。

被着材質

モルタル等含水量の多い場合は注意を要します。含水率7%以上のモルタル面には施工してはなりません。含水率6%以下くらいが施工ころでしょう。

ガン吹き

油性コーキング材は、一般には24~72hrで表面皮膜を形成します。したがってガン吹きは、コーキング材の皮膜を形成してから行うことが必要であります。皮膜形成以前にガン吹きすると、コーキング充填目地のくずれ、またはコーキング材の表面が荒れるばかりでなく、リシン等ガン吹き材質を汚染する恐れがあります。

寒冷時施工

寒冷時は、コーキング材の稠度が大きくなるので、往々にして溶剤等を混合するケースがありますが、これは厳にいましめ、温湯加温して使用しなくてはなりません。

ヘラおさえと接着性

目地にガンで充てんした後は、ヘラ、ナイフまたは圧着器でおさえ、仕上を行います。(左官用目地ごての使用可)

これは充てんされたコーキング材を十分に押さえることで、下地と完全に付着させ、表面の凹凸を均らして滑らかに仕上げるということだけでなしに、コーキング材本来の目的である防水性を左右し、また耐久性にも大き

な影響を与えますから、これには十分な管理が必要です。

油性コーキング材の保存

夜間現場などに行くと往々にしてみかけることですが、前日の使い残りのコーキング材などが、裸のまま放置してあったりする。これは厳にいましめなければならないことで、事後の管理にはよく留意すべきです。

油性コーキング材は空気中の酸素と反応して酸化皮膜を形成しますから使用後の材料は平滑にならし、ポリエチ、塩ビなどのシートあるいはセロファンなどで表面をおおい密封し、でき得る限り暗所に保存するべきです。

その際なるべく湿気のない場所を選ぶことが必要です。

<その他施工時の注意は、標準施工仕様書(日本シーリング協会)に従う。>

以上油性コーキング材について概略ご説明申上げましたが、限られた時間なので意のつくせぬところは他日にゆづりたいと思います。要はコーキング材の性質をよくご理解いただき適処への適応をお願いする次第であります。

(本稿は当日出席の日本添加剤工業(株)熊沢徳行氏の協力を載きました。なお当日は弾性シーラントについての質疑応答も行われましたが、紙面の都合上他日にゆづらせて載きます。)

ポリサルファイド系
合成ゴム系
エポキシ樹脂系

コーキングは

施工・販売

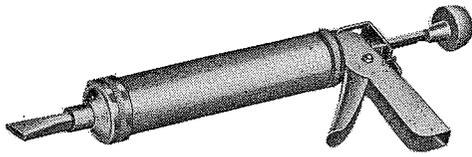
清起工業株式会社

東京都渋谷区渋谷3丁目27番地12号

TEL (407)0045・(409)6710

施工屋から見た

シーリングのいろいろ



日本シーリング協会 宇佐美満男
第三部会 会長

最近シーリングに対する関心は、カーテンウォール形式の建物が多く建築されるにつれて、とくに研究され、斯界の諸先生、先輩の諸氏は、施工に関する問題点や御注意を適格に、より具体的に発表されているので、私ごととき若輩が更に施工について申述べることもないが、協会より施工屋としての立場から書くよう促されたのを機会に、体験上からの諸点、特に案外おざりにしやすく、従って特に留意しなければ完全な施工は望めない諸点を、具体的な実技として、ここに二、三記して、責を果たしたい。

1. シーリングの必要性の認識

施工の際、まつ雨仕舞のこと、即ち、防水に就いてはよく熟知してそれなりに進められるが、外装上から来る要求、殊に美観的、体裁上の化粧性をどの程度要求されているかを一考すべきである。ときには防水性より化粧的な取合目地としての比重が強い場合もあるのだから。もちろん下地の良否は、シーリングの効果に影響するし、充填目地は施工上支障のないように、正しく仕上げられていることが前提であることは論をまたない。

2. 施工上の留意点

(1) 充填前の処理

① 接着面の清掃を強調したい。下地への附着を妨げるモルタル屑、その他目地部のつまり物等は取除き、ペーパー、ブラシ等を用い下地への附着を容易にする。取合部が金属性のときは錆に注意し、よく金さびを落さなければいけない。

サッシ、パネル、スパンドレル等に見られるラッカー、その他の塗装処理がしてある場合は、適宜な溶剤を用いて、塗料、油性分を落すこと。とくに入隅部の清掃は入念にすることが大切である。

② 下地が湿潤状態の場合は、完全に水分を除去する。殊にモルタル、コンクリート、プレキャスト等吸収性の高い被着体にあつては、温熱乾燥のみならず、工期的に許されるなら自然乾燥を待つて施工するのが望ましい。従って附着性を妨げる降雨(雪)中での施工は、絶対に避けねばならない。

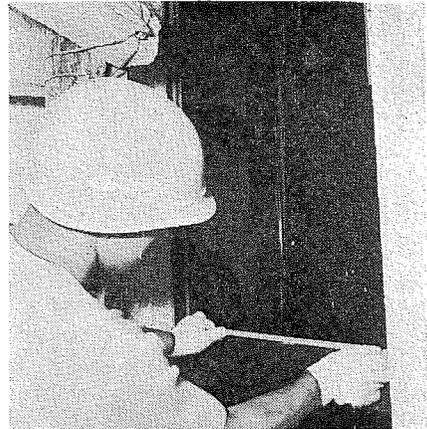
下詰材充填後、雨水等により湿った場合は、乾燥された下詰材と取換えなければ不可ない。

③ 接着性の低い被着体(下地材)、シール材によっては、シーラントの接着強度を高めるため、プライマーを塗布する必要がある。プライマーの塗布

は目地部に均一に塗布され、目地以外にはみ出したり汚したりしないこと。塗布後乾燥する間に異物の附着があるから十分に注意されたい、

④ 施工目地が深過ぎる場合及び、弾性シーラント施工の場合は、下詰材を充填する。下詰材は油脂分溶剤などの滲透するものはさけること。下詰材の充填に際しては均一な深さになるよう心掛けねばならない。これはシーラント充填後の気泡防止に役立つのである。

⑤ マスキングテープ貼りは、充填外の養生と仕上面両端の線を出させるためのものだが、テープ自体の接着糊が残らず、また糊によっては化学変化を来たし附着部を侵したりするものがあるから注意されたい。



[マスキングテープ貼り]

(2) 充填

① 油性剤の充填

(a) 目地に適した「ノズル」を選び、目地の細部特にコーナの部分は、完全に充填するための十分な加圧をしなければならぬ。充填後のヘラ仕上は、必ず同一方向のみでなく、返しヘラを施して、目地下地に完全に接着させ、表面は平滑にならし仕上げること。

(b) 冬期低温により油性材が凝固し、施工に支障を来たすことがあるが、燈油や他の溶剤添加をすることは、品質を変える原因となるので、絶対に慎しまねばならない。従って低温に際しても適当な軟さを保てるシール材を選ぶべきである。止むなく凝固した場合には缶ごと湯に浸し

適当な軟さに戻してから施工すること。

② 弾性シーラントの充填

(イ) 二液型の場合

弾性シーラントのうち、二液型は、基剤と加硫剤とに分かれているが、これの混合の良否は製品の質が不均一を来たすので、特に慎重を期さねばならない。手練り、機械練り何れの場合でも、沈降のある加硫剤にあっては、よく加硫剤を攪拌してから、各々の製品に定められた一定の配合割合により混合すること。一度に多量の配合はさげ、十分な攪拌が出来る範囲(約2~3 班)内で行い、可使時間に影響のある直射日光の当たるところをさげ、異物の混入しない場所、入念かつ均一に練りませねばならない。

(ロ) 一液型の場合

おおむね硬化時間が早い。即ち可使時間が短い。ため充填後のヘラ押さえは、敏速に行わなければならない。また、シリコンシーラントのように刺激性のガスを発生するシール材の屋内施工に当っては、換気に十分注意しなければならない。

③ 充填後の処理

マスキングテープを使用した施工の場合、充填されたら速やかに除去する事、その際充填されたシーラントを傷つけないように注意しなければならない。

以上シーリング材の充填施工について述べたが、これで作業が完了したのではなく、施工後の後始末を完全にしなければならない。

例えば、使用したガン、ヘラ等は溶剤等で洗滌して次

の作業をスムーズにし、また使用済の空缶、カートリッジの空、除去したマスキングテープ等は、現物内の所定箇所整理されて、はじめて作業完了であることを、施工者は銘記すべきである。

次に蛇足であるが、材料メーカー、ゼネコンに対し注文したいことを二、三あげてみたい。

メーカーはシーリング材の販売に当たり、使用目的、使用箇所に適したシーリング材の販売に留意して頂きたい。施工箇所に不相当と思われる材料を提供されることがあるが、施工屋としては、迷惑至極である。よくシーリング材の性質を考慮して適材適所に向けるよう配慮が望ましい。

またシーリング材の充填工期はともすれば施工時の工程ずれから、最終工程に近くなり、工期も極めて乏しく、しばしば突貫作業に追い込まれる。より完全な施工を期するためには、十分な工期を確保することが望ましいのである。

シーリング工事は、工事全体の領域からみてまづ極少部位に相当するだろうが、漏水は容赦なく浸入するから、工事の手抜かりは許されないのである。過当な工事獲得は価格を著しく下げ、ひいては、工事の粗雑化を招くことも考えられる。正常なコストダウンは大いに歓迎招来すべきことだが、材料価格のウェートが硬直状態である限り、人件費の増加と相まってなかなかむづかしい問題である。入念な施工、より完全な施工を望む以上は、どうしても価格の適正維持は欠くことが出来ないだろう。ゼネコン、メーカー筋の温い御理解の下に、この意を配慮して発注、施工を督励することを切してやまない。

(高萩興業株式会社)

シーリング風流抄

つゆは尾花と

つゆは尾花と寝たという
尾花はつゆと寝ぬという
あれ寝たという寝ぬという
尾花が穂に出てあらわれた

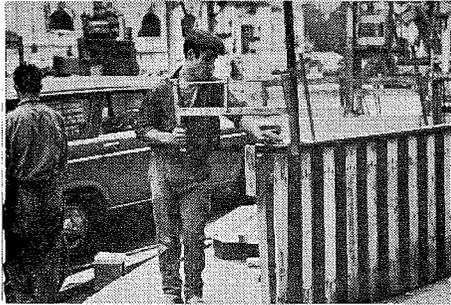
この唄は八代目團十郎の作詞で
大阪の南地で出来たとの話です
が、それより古く「露は芒と寝た

という」という唄がありますから
その出生は疑問です。

何れにしても、つゆと尾花が寝
たといい、寝ぬという言葉のアヤ
もさることながら、やはりこれは
恋のかけひきとみたい。

なんだか婚約不履行を男女が互
になじりっこをしているようで、
尾花が愛のお荷物ととればとれな
いことはありませんけれど、その

ことは別として、すべてそのもの
ズバリの現代人には何かまだるっ
こしいものを感じさせますが、恋
というものが多分にアンチ・ビジ
ネスなものですから——しかし現
代人にはそれが承知できない。そ
こで穂に、の現われまでのプロセ
スはどなたも覚えがおりでしょ
う。



パリの大工(のごぎりが変っている)

(ボンソワール・パリ)

「あれがパリの灯だ」と1927年、大西洋無着陸横断の一番乗りをしたリンドパークが言っているが、それから40年経った今もその灯が遊心をさそい、世界各地から来る観光客を集めている。

灯ともし頃ともなれば、約1,000軒のホテルの観光客は一人残らず出払い、ホテルのマネジャー、ボーイ達が一服する時間ともなる。これは私自身がフロントで確かめたことで、レジのパリジェンヌが両手をひろげ肩をすくめて笑っていた。こと程左様にパリの夜は楽しいのであろうか？ 私は夜が恐い！

話はさかのぼるが、パリ入の10日程前、ローマでのことである。ローマに着いた夜、タイミング良くも、古代ローマ遺跡のカラカラ浴場をステージにした屋外劇場で、歌劇「椿姫」の全幕を見る機会にめぐまれ、ローマはついでと判断して、次の日に夜の観光バスに乗つたのが早計で……。

6,000リラ(約3,500円)を支払って、大人用夜の観光バスの客となった。2時間程市内の名所旧跡、主として噴水のある広場巡りをしたが、どの噴水の周囲も涼をとるのか、さらに熱くなるためかわからないが、南欧のアベックで一杯である。同行の若い連中は頭に来たと思愚痴ることしきりであったが、それから大人の時間となり、先ず、ピヤホールでイタリア民謡を見物(ゼスチャーが大きいので歌をさくだけでなく、見ることにウエイトがある)、次が3流バー(防腐剤臭の強い日本酒があった)そしてラストに案内されたのがナイトクラブ。このクラブは2流程度であろうか、中央が1段低くなってバンドステージとフロアがあり、これを放射状に取りまいた、レストラン風のイスとテーブルに客が満員で、たばこの煙と薄暗い照明のため、向う側はほとんど見えない。丁度、フロアでヌードショウが始ったところで、ム

—文と写真—

波多野一郎 ※

ドのある踊りと肢軀の美しさは、日本のキャバレーのシヨウの此ではない。

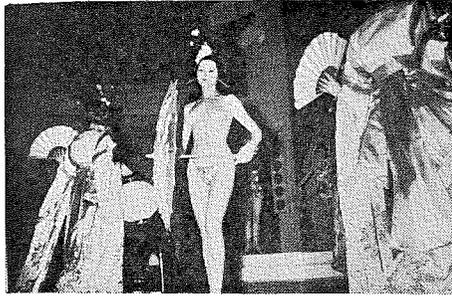
さて、本論はこれからで……。

シヨウもたけなわとなる頃、ホステスが客の横の席に現われて、しきりと何やら囁くのである。私は同行者の引率上の責任を直感し、姉御とおぼしきマリリンモンロー張りの年増に、様子をさいたわけである。英独混合語の会話で四苦八苦の上、お互の意志が疎通した結果、判明したことは、2階に個室があるから泊ってくれということ、さもなければ1万リラでシャンペンをおごれであった(らしい)。

「今晚は皆んな暇がない」——「明晩待っている」、
「明朝ローマを出発する」——「店が終ったら食事に連れていって」
「我々は一緒にホテルへ帰らなければならない」——「仕方がない、次の時に」、要約すればこんな会話だが、イタリー産マリリンモンローとこれだけの話をするのになんと苦労したことか。だから夜が恐い。看板になって帰る時、数組の男女が奥の扉へ消えて行ったが、日本人はいなかった。モンロー女史は入口横のカウンターでブランデーグラス片手に「ブオナ・ノッテ」といって手を差し出した。楽しみあれば苦しみあり一夜は恐い。

ローマの苦勞にこりて、パリではムランルージュ・リドを見物する観光バスを敬遠し、ホテルのマネジャーに紹介を頼み、モンマルトルの小じんまりしたキャバレー「イブ・ド・パリ」にタクシーをとばす。シャンペン半本付きで約2時間のシヨウを見物して約3,000円である。フレンチカンカン、ヌード、奇術など豪華ではないが、洗練された芸は見事なものである。

エッフェル塔は照明を受けて夜空にそびえ、昼に劣らず賑やかである。塔の展望台の一角にフランス料理のレストランがある。涼風を受け、パリの灯を眺めて、ワインと料理が堪能できる。酒落気を出して一夕の歓をつくしたが、代金は相当なものであった(忘れたが)。もっ



(イブ・ド・パリのショー)

とも白葡萄酒を2本程(3人で)空けたせいでもある。東京タワーと同様に記念品売店がある。絵はがきが12枚で約450円。酔った勢でひねつた腰折れが「エッフェルでセースにうつる夏の月」。

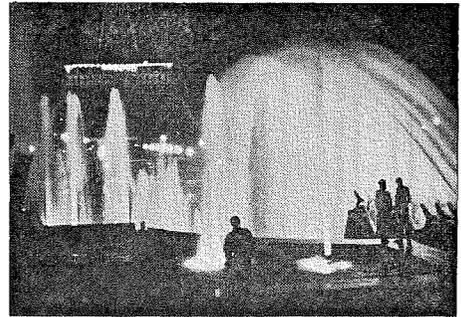
こちらがエッフェル塔で月を眺めて郷愁にひたっている頃、単独行動で探訪に出た某氏は客引き女に連れられてナイトクラブに案内されて、ショーを堪能したのはよいが、シャンパンを強制的に抜かされたとか。金額も暴力バーなみであったらしい。注意すべきことというべし。お上りさん相手のインチキは何処にでもあるもの。「ボンソワール・ムツシュエ」となれなれしく肩をたたき男がいる。人目を憚るようにして「写真」をチラリと見せ、「2ドル」(ドルをほしがらうらしい)という。これが曲物で中味は泰西名画的なひと胸の印刷という代物。場所はシャンゼリゼー通り、買ったのは渡欧数回の経験者、これに対して真面目? なのは、裏側が美しいカラーのヌード写真になっているトランプであろうか。1枚1枚写真が異なっている。同行の女性が買って楽しんでいたところを見ると、必ずしも男性用というわけでもないようである。

この頃は日本でも売っているようであるが、パリ価格は普通の大きさと約700円。

ヌードではないが、ブラジャーとトリアルパンツだけをまとったパリジェンヌをシャンゼリゼーで見かけた。この方は泰西名画的のインチキ物とはちがいで、生身であるから目をみはらされる。後ろ姿を写したが、ピンボケなので掲載に適さないのが残念である。

シャンドマルス公園のエッフェル塔と相対する南端に大噴水がある。何基もの噴出品があるが、中心は大砲を十数門並列させたような巨大な口である。水中の照明も美事で、夕涼みを兼ねた見物客が群れ集っている。

夜の観光コースにない一つの傑作は、オーブリエッテである。ノートルダム寺院とソルボンヌ大学の間において、小さなオーブリエッテ公園が、ノートルダムを斜めに眺める場所にあるので目標となる。この公園の近くのオーブリエッテ教会の地下室にカフェがある。シャンソンを聞きながらワインを傾ける店であるが、珍品のコレクションであり、中世紀の武器などともに、マリー・



大噴水(左寄り遠方にエッフェル塔の脚部が見える)

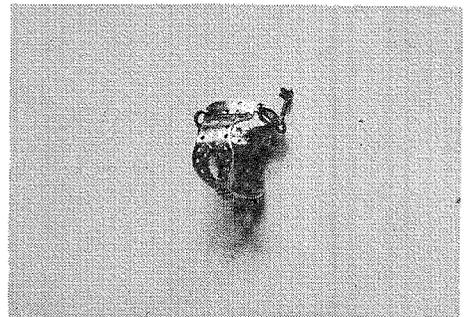
アントワネットが処刑された? ギロチン、十字軍にまつわるエピソードで有名な貞操帯が陳列されている。

貞操帯は、十字軍の出征する兵士が、妻の不貞を防ぐために使用したと伝えられているが、果して事実なのであろうか。あれを身につけたら、用も完全に出来ず、不潔この上もないと思われる。いろいろ調べてみると、死者を土葬にしていた当時、痴漢が死姦をすることを防ぐため、夫や親が愛する者のために用いたというのが本当らしい。現代は女性の一人歩きに應用する人があり、特許をとっている精巧な構造のものもある。この店で、貞操帯を小形化した銀製の指環を売っている。

物好きな人は多いもので、かつてわが国の俳優が50個程買占めその後はしばらく品切れだったという噂もある。購入御希望の向きは、予め品物の有無は調査された上で、パリへ行かれる必要がある。

「貞操帯指」になまめき

アディユ・パリ。



(貞操帯指環)

(附記: 貞操帯の実物大模造品は、わが国にも数個ある)

※千葉大学工学部教授

建築用コーキング材

サッシール



日瀝化学工業株式会社

日瀝特殊化工株式会社

代表取締役 池田 英一

本社 / 東京都荒川区西尾久 8-47
 TEL 東京 (894) 4861-4

大阪営業所 / 大阪市東淀川区堀上通 3-39
 TEL 大阪 (392) 0051-6

名古屋営業所 / 愛知県稲沢市木全町梶上 2 5
 TEL 稲沢 (32) 4131-3

福岡営業所 / 福岡市薬院露切町 32-1 日エビル
 TEL 福岡 (53) 2831-4

JIS
A-5751



許可番号
367100

完全防水施工は



- ①耐候性にすぐれている。
- ②柔軟性、弾力性が長期的に持続し硬化しない。
- ③だれ油のにじみがない。
- ④耐酸、耐アルカリに富み金属等を腐蝕しない。

- ★ 18ℓ 入角缶 ★ 9ℓ 入角缶
- ★ 3.6ℓ 入丸缶 ★ 800cc 入チューブ
- ★ 360cc 入カートリッジ ★ 320cc 入チューブ
- ★ 500cc 入カラーコーキング



三洋工業株式会社

東京都江東区北砂 1-19-13 電 (645) 9461 (大代)

東京・大阪・名古屋・横浜・広島・福岡・仙台・札幌

相談室

相談室へご質問をお寄せ下さい。

【質問】

笠木ステンレスに弾性シーラントを充填して1年経過したが、水が漏って困る。補修方法を教えて下さい。

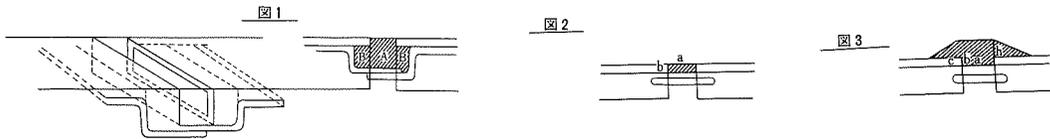
【答】 笠木ジョイント部の設計がどのようになっているのか、問題の焦点はここにある。

図1の如き設計の場合漏入したとしたならば、B部への充填が粗雑であったかもしれない。

図2の如く突合せジョイントで板厚のみでシールしていたとするならば、いかに施工が十分でも危険である。

一般に笠木の板厚は2~3mm最大厚5mm位目地幅5~10mm故充填し口は甚だ少である。

ステンレスの熱膨張係数は、 $1 \times 10^{-5} \sim 1.7 \times 10^{-5} / ^\circ\text{C}$ 故接合部材1m当りの伸縮は温度差60°Cとすればおおよそ0.6~0.8mm位となり5mm目地とすれば40~50%の伸張ならびに圧縮が常時かかることとなり、板厚2~3mmの充填では追従は困難である。したがって、図2の如き場合は図3の如く施工することが望ましい。



ここにCは7mm以上hは3mm以上とることが望ましい。

基本的には図1のような目地設計が必要である。

((この欄の解答は日本シーリング協会第二部会日本添加剤工業(株)熊沢徳行氏の協力を戴きました))

共立の 3Kコーキング

- 営業種目
- * 各種シーリング材
 - 合成ゴム系
 - エポキシ系
 - ポリサルファイド系
 - * 各種接着剤及防錆包装剤

共立化学株式会社

愛知県知多郡上野町大字南柴田新田字イの割44-19

電通本社ビル



株式会社電通本社屋が、築地2丁目の高速道路1号線のかたわらにその力強い15階建ての雄姿をあらわした。丹下健三氏による、ピロティーをもつ本格的な超高層建築、東京都における特定街指定第1号として早くから建築界の注目をあつめていた工事だったが、昭和38年末に着工したものの、完成までの間に1年余の工事中止期間があったというあい路も克服し、施工の大林組は関係業者の協力のもとに、総力を結集して、見事完成の日をむかえた。『広告の電通、本拠という建物の機能面から、内部は広告界の先端を行く電通にふさわしい機能性と近代性が12分に配慮され、外装の明快な構造美とあいまって、ここに新しい建築の美と機能を融和させた関係者の努力は大きく評価されるべきものであろう。古い伝統のまち築地の、これからの街づくりに、この建物はひとつのきわめて象徴的な意味をもっている。

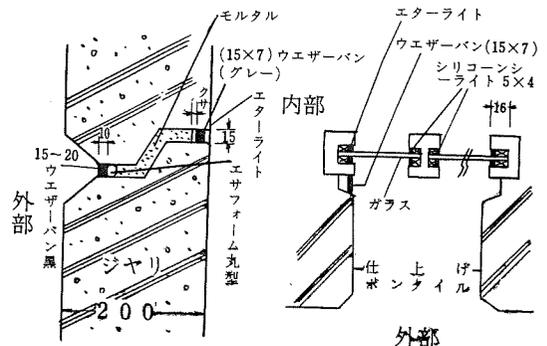
建築概要

施主：株式会社電通
 設計監理：丹下健三，都市建築設計研究所・構造…坪井義勝，坪井義勝研究所設備…井上宇市，大滝設備事務所
 施工…株式会社大林組
 建築位置：東京都中央区築地2丁目12番地
 建築延べ面積：28,922平方メートル(8,748.91坪)
 建築規模：60・312メートル(地上15階)50・782メートル(地上13階)
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造(ただし，地下2，3階鉄筋コンクリート造)

工期：昭和38年12月着工 昭和42年5月竣工

シーラント工事

1. シーラント施工期間
昭和42年3月～5月末
2. 施工ケ所
A. 打放しコンクリートとアルミサッシュ，P・C(シヨックベトン)とP・Cの取合，打放しコンクリート大梁
B. 硝子廻り
3. 使用材料
A. ウエザーパングレー，15×7% 10,000m ウエザーパン黒15×10%，20×10% 2,200m バックアップ材，エサフォーム(丸)エターライト(角)
B. 信越シリコンシーラント，5×4%36,000m，バックアップ材，エターライト
4. 使用量
ウエザーパン3ℓ入=400缶
シリコン330㏄入=2,100本
5. シーラント施工
マサル工業(株)
6. 延人員 1,300人工



施工のポイント

- イ. 設計変更等の理由で工期が短縮されそれがシーリング工事にシワ寄せされたため調整に苦労した。
- ロ. 足場工程の関連が困難であった。
- ハ. 極端に目地巾の広いP・C，大梁の取合，P・Cのボルト廻り等は数倍の施工時間を要した。
- ニ. プライマー，マスキングテープ併用はもちろん，不安定な足元をカバーすることに特に留意し，入念に施工した。

大阪建物ビル



建築概要

施主：大阪建物（株）
 設計：村野・森建築事務所
 施工：鹿島建設
 構造：SRC造，一部PC造
 地下5階地上9階建
 工期：1965.7～1967.8（予定）
 所在：東京都中央区京橋1丁目
 敷地面積：1,948.92m²
 建築面積：1,897.09m²
 高さ：塔屋まで43m
 工費：約23億

シーラント施工

1. シーラント施工期間
 昭和42.6月～8月
2. 施工ヶ所
 石，アルキヤスト，アルミサッシ取合
3. 目地巾延長
 約3万m（1トン半）

このビルは、東京駅八重洲口の近くに住つ貸事務所ビルで、地下2階から八重洲地下商店街と直結し、東京駅丸の内方面へと結ばれ、貸事務所としては恰好の所にあるといえよう。

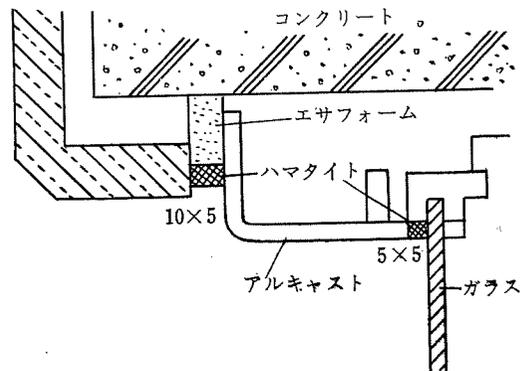
平面計画はセンター・コアシステムでコア部分を中心として三つのブロックに分けられている。

三つのブロックは防火，耐震壁により区画されるが，他の部分はオープンなスペースとなっていて，入居するテナントによって自由な使い方が可能になっている。

外装はカナディアン・ブラックの柱型とアルミダイカストのカーテンウォールと，ブロンズペーンのペアガラスにより構成されている。

アルミダイカストのカーテンウォールは，外から窓のサッシが見えず，しかも表アルキヤスト，裏型材の試みは珍しいものである。

このビルにおけるシーラント材は，かなり大量にのぼったがその理由としては，材料自体がアルキヤストで工場製品でありユニットとユニット，石自体の全てが現場で組み合わせるといった材料の多様性と，ディテールの曲線性がシーリング材の量を多くしたものと見える。



4. 使用材料

ハマタイト SC2300
 " SC1480
 " SC1470

5. シーラント施工

ハマシーラ工業（株）

6. 延人員

450人工

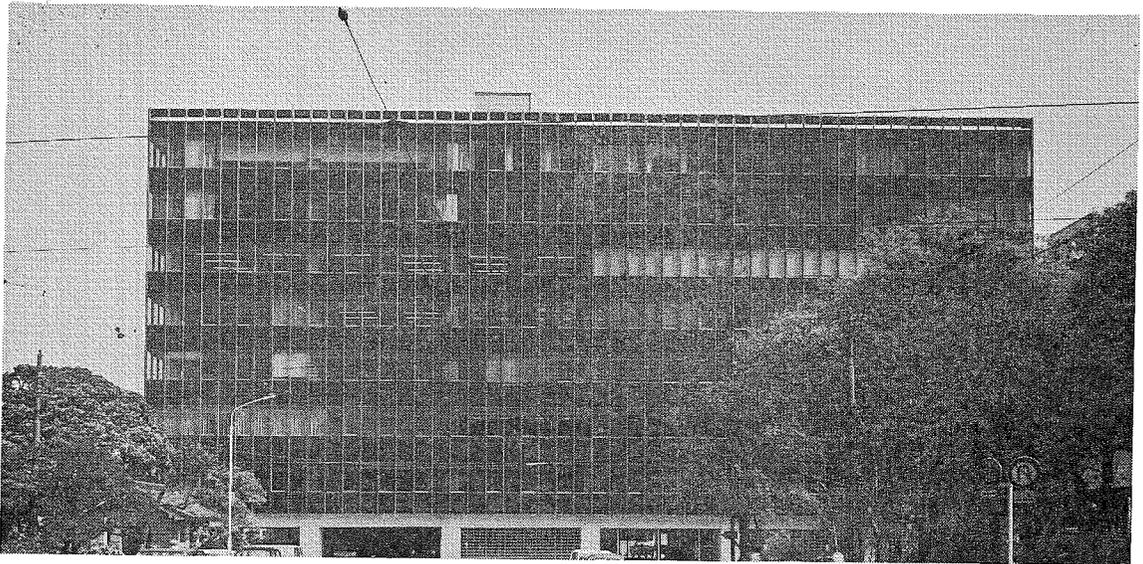
中 労 委 会 館

この建物は、中央労働委員会をはじめ、保健審査会他4公共機関を収容するため建造されたもので、芝増上寺山門と相対して、芝公園の閑静な環境の中に機能的で雄大な姿を誇っている。

設計、監理を建設省による関東地区のビルのうちメタルカーテンウォール構造としては初めてのもので総工費3億9千7百60万円と三年の歳月を費して完成した。外装は、柱および梁型をミカゲ、擬石張り、磁器タイル(150角)、屋上熱防コンクリートブロック仕上。

カーテンウォールは、腰板ホーロー鉄板(川鉄43S)方立アルミ(自然発色)で、熱線吸収ガラスにより構成されている。

また1階回りの交通をスムーズにして、ビルの出入りを快適にするよう1部ピロティ方式(ピロティ床アスコン)をとり入れてある。

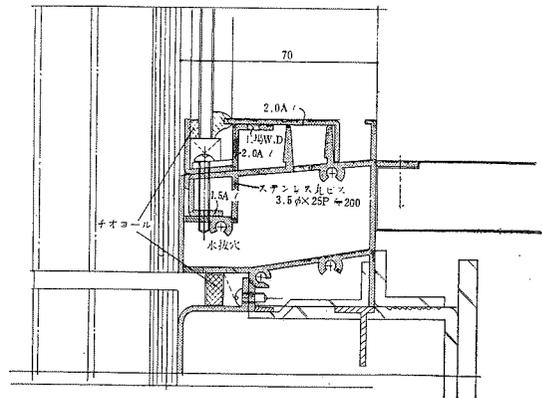


建 築 概 要

施 主：中央労働委員会
 設 計 監 理：建設省
 施 工：銭高組
 建築所在地：東京都港区芝公園6号地1番地
 建築面積：9,479.28㎡
 建築規模：地上8階地下1階塔屋2階
 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造・腰板ホーロー鉄板、方立アルミ
 工 期：昭和40年11月13日～昭和42年3月30日

シーラント工事

1. シーラント施工期間
昭和41年9月～12月
2. 施工ヶ所・方立目地
ガラス廻り
3. 目地巾延長
12×15% (方立) 3×3% (ガラス) 7000m
4. 使用材料



- 住友スリーエム(株)製ウエザーバン2液(黒)
5. シーラント施工
細田工業株式会社
6. 延 人 員
380人工

東急開発ビル

建築概要

所在地：渋谷区栄通1の28
 施主：東急開発
 設計監理：東急不動産
 施工：東急建設
 延面積：1万2千700坪
 高さ：地上8階、地下3階、塔屋2階
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート
 外装（プレキャスト、ポ
 ンタイル）
 工期：41年9月～11月
 シーラント工事

1. シーラント施工期間
 昭和42年7月8日～8月20日
2. 施工ケ所
 P・CとP・C、P・Cとサ
 ッシ、硝子廻り
3. 目地巾延長
 15×8%, 10×7%, 1万m, 硝子廻り2万m
4. 使用材料
 日立チオシーラーK3800（ブロンズ・グレー）
 バックアップ材、エサフォーム（丸・角）
5. シーラント施工
 （有）水光工業・丸福産業
6. 延人員・600人工

〈水光工業談〉

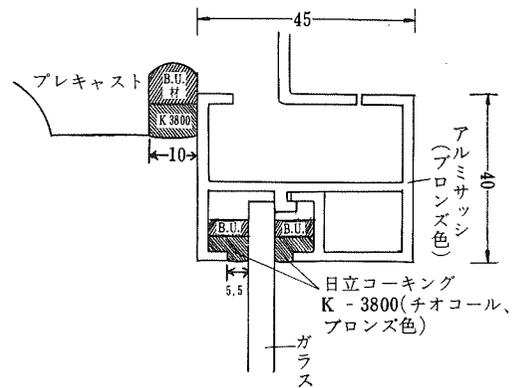
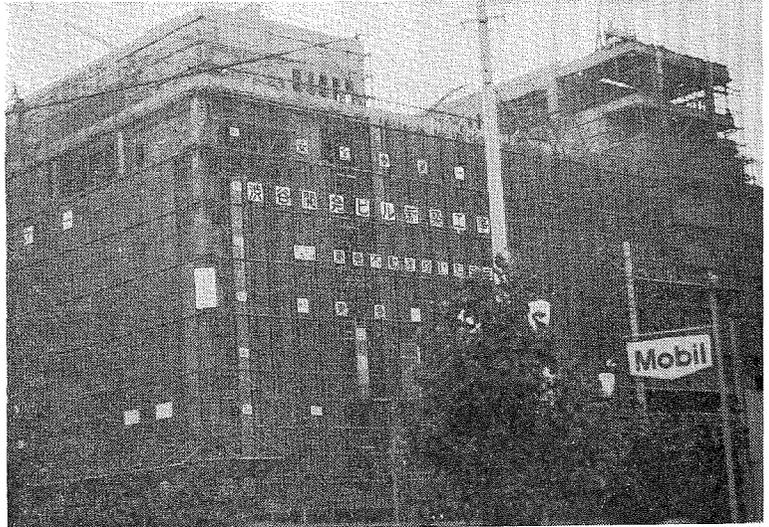
ポントイル吹付後のため、仕上面が粗く不揃いがちであった。そのため、プライマー処理を施し、良好の結果を得た。施工期がはなはだ短期であるため、突貫工事を余儀なくされた。また全ての施工ケ所にわたって化粧的な要求があった。

この建物は、新進百貨店として日本橋白木屋をもその傘下に収め、今やゆるぎない地歩を築こうとしている東横百貨店（10月より東急百貨店に改称）本店を収容するもので渋谷道玄坂上の良好な建築的環境にあって、そのしょう洒な姿と明快な構造美を誇っている。

外装は南東に面した部分をプレキャスト面ポントイル仕上、裏側をタイル、妻壁および塔屋は北側47%角モザイク西側ガン吹き、建具一階廻りステンレス、プレキャスト廻りアルミカルカラー仕上げ、網入色つきサンブロンズ硝子の全体をハの字型のデザインによって構成されている。

地下は3層とも駐車場になっており、各階50台づつ150台駐車可能で、百貨店という特殊な建築用途から自動車交通をスムーズにして、ビルの出入りを快適にするように計画されたものである。

なお、このビルに使用した日立チオラーラーK3800は、さる4月発売以来はじめて大量施工されたもの。



萬能空間の功罪

建物というものは木造ならばともかく、鉄筋コンクリート造りともなると、一度建てたら最後、そう簡単に造りなおすわけにはいかない。

しかし猫の目のように変るこの世の中のことで、いつ何時どんな変化が住む人々の上に訪れるか知れたものではない。せっきく建築家が調査し、研究し、この部屋は何人でどういう仕事に使うから何平方メートルの位置ときめたのに、人数が急に三倍になったり、その仕事が必要なくなったりしかねないのである。

こんな場合、建築家が精密に設計すればするほど、にっちもさっちもいなくなる。

そこで建築家は空間に自由をもたせることを考えついた。建築家が最近好んで口にするフレキシビリティという言葉がこれである。

この考え方からいうと、まず広い空間を造り出し、それぞれの用途に対して家具や簡単な仕切りで区切りをつけ、用途に変化が生じれば家具を移動したり、仕切りを取ったりしてそれに応じようというわけである。

このように何にでも使える開放的な空間を、ユニヴァーサル・スペース（万能空間）とか、あるいは洒落てタイム・スペース（時間空間）とか建築家は呼んでいる。

この空間にはもうひとつの効用がある。それは今までのように厚い壁で小さな部屋を幾つも造ると、それぞれの部屋が狭苦しいばかりでなく、どの部屋か廊下などが薄暗くなってしまうのである。

そこでお互いに開放的な明るい空間でのびのびと仕事

をしようではないかというのが、この空間のもつ思想である。

ところがそう話はうまくいかない。

「私共が最初に感じたことは、非常に明るすぎてどこへ視線をもっていったらよいかということで戸惑ったと思っておりますが、これは馴れでそうでなくなると思えます。それから緊張感であります、事務能率の点で、衆人環視の中なので一面固くなりやすいと思えます。

もうひとつは特に食事なんかであります、二階から一階を見下すと何となく多くの人の食事がみえて気がひける……それから休憩室というものは何か蔭がないといけません。人間は蔭があって始めて体が休まるのであります。直接動作が見られないというような点も必要かと思っております。」

これは丹下健三氏が設計したモダン建築・清水市庁舎に対する懇談会の速記録から、職員組合の発言を抜いたものである。

欧米のように雇傭者と被雇傭者の関係は契約であり、ビジネスの上では上役に従うが、個人関係は対等であるという思想が普及しているところならばともかく、日本では開放的な空間がかえって窮屈な空間となりかねないのである。

このような問題の起る罪は、建築家にあるのであろうか？ 施主にあるのであろうか？ それとも組合側にあるのであろうか？

（阿部零児）

フオートページ欄写真募集

本誌へフオートページ欄を設けたいと思います。シーリング材のいろいろの使用実例をお送り下さい。

謝礼または記念品を贈呈いたします。またシーリング材の興味ある使い方や使用場所などをお知らせ下さった方にも記念品を贈呈いたします。

- (1) シーリング材をテーマとした作品ならばなんでも結構です。特に季節感のある作品を歓迎します。
- (2) サイズ・枚数は特に制限ありません。
- (3) 住所・氏名・年令・職業・簡単な説明を添付して下さい。
- (4) 締め切り日は特にありません。

あて先・日本シーリング協会・東京都千代田区外神田2の2の17
TEL (255) 0231 (代) 2841 (直) (共同ビル)

投稿歓迎

読者のみなさんからの投稿を歓迎します。採用・不採用にかかわらず原稿料または記念品をお贈りします。

- (1) 内容はシーリング材に関するものや製品紹介に限らず随筆、時評などなんでも結構です。
- (2) 字数は1,600字以上
- (3) 住所・氏名・年令・職業を明記して下さい。
- (4) 応募資格の制限はありません。
- (5) 締め切り日は特にありません。



無 題

〔三井霞ヶ関ビル（36階建・147m このビルにも大量の弾性シーラントが使用されている。〕

《よりよいシーリング施工へのアドバイス》

近年建築への弾性シーリング材の使用が非常な勢いで増加しつつあり、同時に建築業者、および施工業者の皆さんがシーリングの重要性を認識されてきた事は喜ばしい事であります。

どんなに良い部材を使用した建物でも水漏れがあっては何もならないからです。

私もこれまでではシーリング材メーカーの立場から、いろいろな建築現場のシーリング施工を見てきましたが、特に超高層ビルにおけるシーリングについて、二三述べてみたいと思います。別に超高層ビルだけではなく、どの現場にもいえる事ではありますが。

1) シールの完全施工

当然の事ではあるが、超高層ビルになればなる程、不良個所の補修が大変困難になります。

従ってシールは特に完全を期さねばなりません。従来のように職人がナイフ一本でバックアップ材の装着から仕上げまで、ノズル一本でどの目地も充填するという方法では完全施工は難しくなります。当然目地にあったバックアップ材挿入や各種ノズルおよび仕上げへらを使用する事が必要となります。

2) シール施工体制

従来のように数人の職人が清掃から仕上げまで各々全てを行なうのでは作業能率が悪い。

弾性シーラント（2液型）では作業を大別すると、

- a) 清掃（テープ貼り、その除去）
- b) バックアップ材の装着

c) 混合（ガンへの充填）

d) 目地への充填（仕上げ）

となり、これらの各部門を専門化して流れ作業的に行なう事が必要となります。

このように専門化する事により能率もあがり熟練するだろうと考えられます。もちろん二液の混合は当然機械的に行なう事になります。

3) 現場管理

これまではこの現場に行きましても‘現場の管理者（外装部門担当者）が多忙だったり、資料不足だったりの理由でシーラントというものにあまり関心を払われない事が多く、シールは施工業者に任せきりというのが憐らざる現状のようです。特に仕上げだけを重要視するような感じを受けます。

シーラントの本来の目的は水密性を保ち、部材の動きを吸収出来る事が最大の問題である、という事を現場の管理の方々はもっと認識される事を希望します。

以上施工に関して二、三述べて見ました。タイトルも適題が思い浮かばぬまま「無題」と致しましたが要するに我々メーカーからの製品は、いはば半製品であり実際に施工され始めてその価値を問われるものであります。従いましてメーカーとしての当社は施工業者と一体となってシールの完全を期するよう今後とも努力したいと思えます。

住友スリーエム株式会社



第4回通常総会

和やかなうちにも前進の意欲

第4回通常総会はさる4月22日(土)午後2時から新東京ビル丸之内会館において行なわれた。

まづ渡辺会長(当時)の挨拶にはじまり、来賓代表の伊藤憲太郎相談役の祝詞に続いて議事に入り

- (1) 昭和41年度事業概況報告の件
- (2) 昭和41年度決算報告承認の件
- (3) 役員選出および承認の件
- (4) 会費金額変更の件
- (5) 昭和42年度事業計画書承認の件
- (6) 昭和42年度予算案承認の件
- (7) その他の件

のそれぞれの議案が討議された。なお新役員は下表の通り選出された。

このあと懇親会に入り和気あいの雰囲気のうちにも時局の認識と対策について意見の交換がなされ、今後の活躍を互に誓い合う風景がここそこにみられた。

当日の山本新会長の挨拶の要旨次のとおり。

山本会長挨拶要旨

日本シーリング協会も、会員ならびに各方面関係者の方々の絶大なる御協力の御陰を持ちまして、極めて順調に発展し、会員数も75社の多きに達しました。

事業面でも、油性コーキング材では、JIS指定工場申請が具体化されており、弾性シーリング材ではJIS制定の原案が完成される等、業界の発展に貢献を続けて参りましたが、各関係方面に於ても、当協会の存在を高く評価され、特に東京都住宅局からは、資材および施工業者としての御指定を受けるに至りました。

協会としてもその責任の重大さを痛感すると共に今年度は過当競争と下請企業より生ずる幾多の難問題に直面して居りますので、会員の皆さんの絶大なる御協力によって「信用ある商品、責任ある施工、適正なる価格」を旗印に活潑な活動を進めたいと思います。

特にPRと低単価の問題は協会の使命を制する重大な問題でありますので、皆さん方の御協力を切にお願いいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

以上

役員表



委員長 日本添加剤工業(株)
委員 日澀化学工業(株)
// タイホー工業株(株)
// 住友スリーエム(株)
// 高萩興業(株)
// 昭和化工(株)
// 日新工業(株)

部長理事 タイホー工業(株)
副部長(総)理事 日新工業(株)
// (技)理事 昭和化工(株)
// 小野田ユニロ(株)
// 日本添加剤工業(株)
// 監事

部長理事 住友スリーエム(株)
副部長(総)理事 鐘淵合成化学工業(株)
// (技) // 横浜ゴム(株)
// 三星産業(株)
// 監事 セメダイン(株)

部長理事 高萩興業(株)
副部長(総)理事 マサル工業(株)
// (技) // シールマン工業(株)
// 昭和工事(株)
// 監事 中村瀝青工業(株)

建築用油性コーキング材JIS指定工場 申請七社に認可

建築用油性コーキング材JIS指定工場は、さる7月下旬申請7社に対する認可があり、しかもなお、追加申請会社が、東京地区、大阪地区などに続々と名乗りを上げており、2、3年後に実現が予測されている弾性シーリング材のJIS指定とも合わせ、これらが過当競争出

血受注の整理、漸減を指向するものとして当業界だけでなく、建築業界全体にとって、きわめて明るいニュースとして受けとめられている。

今回のJIS指定工場は
鐘淵紡績(ゴーレックスP320)

高分子化工(ABCコーキング・ABC商会の子会社)
 三洋工業(スリーコーキング)
 昭光産業(ユニロンコーキング・小野田ユニロンの子会社)
 タイホー工業(トリタイト#7)
 大日本塗料(DNTコーク)
 日本添加剤工業(フラインコーク)
 (アイウエオ順)

シーリング材講習会
 住宅公団金町で

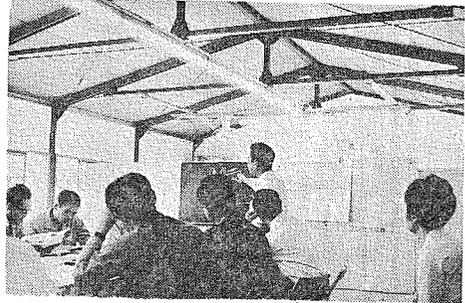
日本シーリング協会P・R委員会主催の「シーリング材講習会」は、6月22日午前10時30分より日本住宅公団金町工事々務所会議室において開催された。

当日は、住宅公団側から工事監督部渡辺三郎氏他25名協会側から山本三郎(昭和化工)小西昭男(小野田ユニロン)熊沢徳行(日本添加剤)宇佐見満男(高萩興業)

の各氏の出席を得てきわめて真険な雰囲気のうちに行なわれた。

講習会は材料ならびに施工上の諸問題をめぐって活発な質疑応答がかわされ、正午閉会予定を公団側の希望により午後4時まで延長、価格問題にも話題がおよび、きわめて有意義な催しとなった。

なお、当協会では、今後こういった催しを機会をとらえては行ってゆきたいと思うので、ご希望の向きは協会事務局宛お申し込み戴ければ幸いです。



△写真は講習会風景▽

〔会 員 消 息〕

住所変更

- ・タイホー工業(株)五反田分室
 移転先・4月1日より
 東京都港区芝1の3の8 電話(452)7641代表
 (452)1658直通
- ・伊藤建材(株)
 移転先・4月17日より
 東京都台東区西浅草2の15の9 電話(842)1431
- ・山内ゴム工業(株)東京営業所
 移転先 東京都中央区日本橋通り3の4岩上ビル
 電話(273)1871~4
- ・西ウォーターブルーフィング・コンサルタント(株)
 移転先 東京都中央区日本橋蛸殻町2の10
- ・旭ダウ(株)ポリエチレン事業部
 移転先・5月15日より
 東京都千代田区有楽町1の14の1(日比谷三井ビル)
 電話(502)7111大代表
 直通(591)8910(販売第1第2)
 直通(591)8919(販売事務)
 直通(591)8936(エサフォーム課)

住所・電話変更

- ・昭和工事(株)
 移転先・4月21日より
 東京都港区新橋1の13の12(提ビル)
 昭和化工(株)内 電話(591)5416代表

工 場

- ・タイホー工業(株)中央研究所
 3月17日より開設

住所 藤沢市桐原町9 電話藤沢(44)3531~3代表

- ・富士興業(株)大森工場

6月23日より開設

住所 大田区中央3の21の9 電話(771)2171~5

- ・三洋工業(株)東京工場 3月1日より
 新番号(670)3411代

電話局番変更

- ・清起工業(株) 7月9日より
 電話(407)0045 (409)6710

チオコール社日本総代理店

- ・(株)野村事務所に(東京都港区西新橋1の3の12日石本館(502)1466)は3月31日付をもって、米国チオコール社の日本総代理店に指定された。

新入会員

- 第1部会
- ・日東化成工業(株)
 大阪市住吉区帝塚山東4-37 (693)3561
- 第2部会
- ・ソニーケミカル(株)
 東京都大田区東糀谷5-29 (742)3441
- ・トーレシリコン(株)
 東京都中央区西八丁堀2-2八重洲建物ビル
 電話(552)8431
- 第3部会
- ・(株)丸福産業(福岡靖明社長)
 東京都江東区深川1の9 電話(641)3096
- ・トーン工業(株)(土田清美社長)
 東京都北区浮間4の12 電話(966)9541

退 会

- ・インターナショナル・エンジニアス・ジャパンリミテッド

油性コーキング材標準価格表(設計価格)

日本シーリング協会第一部会

社名	品名	品番	色	容量	価格	備考
小野田ユニロン	ユニロン コーキング		グレー	18ℓ	8,500	
				3.6ℓ	2,200	
				0.5ℓ	360	
明星工業	スターコーキング	20G	グレー	18ℓ 3.6ℓ	8,500 2,300	
日本添加剤	ファインコーク	G K アルミ #	白・黒・グレー	18ℓ	10,000	
				3.6ℓ	2,500	
				18ℓ	11,000	
			グレー	カートリッジ 500g チューブ 700g	250 1本 340 1本	
大日本塗料	DNTコーク		グレー シルバー	18ℓ 3.6ℓ チューブ 250cc	8,000 1,650 200 1本	2ダース入り1ケース
三洋工業	スリーコーキング		グレー	18ℓ	8,000	
				3.6ℓ	2,000	
				カートリッジ 360cc チューブ 800cc チューブ 320cc	250 (1本) 450 (1本) 250 (1本)	
日立化成	日立コーキング		グレー	18ℓ 3.6ℓ	9,000 2,500	
日本化成工業	ネオシール コーキング		グレー	18ℓ 3.6ℓ	8,000 2,000	
テイパ化工	グレイコート		グレー	18ℓ 3.6ℓ チューブ 500cc	8,000 1,800 300 (1本)	1ダース入り1ケース
日産化学工業	サッシール		グレー	18ℓ 9ℓ 1ℓ	8,000 4,000 500	
志水パテ	エスコーク		グレー	18ℓ	8,000	
中外商工	チュウガイ コーキング		グレー	18ℓ 2.5ℓ	8,500 2,000	
タイホー工業	トリタイト	#7	グレー 黒・白	18ℓ 9ℓ 3.6ℓ	9,000 4,500 2,000	
昭和化工	エバシール		グレー	18ℓ (缶) 2.5ℓ チューブ 900g 450g	8,500 1,600(缶) 500 (1本) 350 (1本)	4缶入り1ケース 10本入り1ケース 20本 # #
日新工業	マルエス コーキング		グレー	18ℓ チューブ 1ℓ	8,000 400 (1本)	
セメダイン	ポリコーク		グレー	18ℓ 3ℓ チューブ 400cc	8,000 1,340 300 (1本)	3ダース入り1ケース
積水化学工業	セクスイ コーキング		グレー	18ℓ	8,500	
				3.6ℓ	2,200	
				カートリッジ 360cc チューブ 800cc	300 (1本) 450 (1本)	
建材化工	バンシール		グレー	18ℓ	8,500	
				3.6ℓ	2,200	
				カートリッジ 360cc チューブ 800cc	300 (1本) 450 (1本)	
三英ポリマー	リバコーク		グレー	18ℓ 3.6ℓ チューブ 1kg 400g	8,000 2,000 500 (1本) 250 (1本)	2ダース入り1ケース 50本入り1ケース
エービーシー 商会	ABCコーキング		グレー	18ℓ 3.6ℓ カードリッジ 600g	8,500 1,800 250	
	バルカテックス		グレー	チューブ 400g 18ℓ	260 12,500	
共立化学	3Kコーキング		グレー	18ℓ 3.6ℓ チューブ 500cc	8,000 2,000 400	2ダース入り1ケース
三星産業	三星コーキン		グレー	18ℓ 5ℓ チューブ 1ℓ	8,500 2,400 500	
鐘淵合成化学	ゴレックス	P 320	グレー	18ℓ 3.6ℓ チューブ 500g	8,500 2,000 270	40本入り1ケース
日東ポリマー	ニットコーク		グレー ピンク	18ℓ 3ℓ チューブ 1kg チューブ 400g	8,000 1,800 450 (1本) 250 (1本)	2ダース1ケース 50本入り1ケース・2ダース1ケース

弾性シーリング材標準価格表(設計価格)

日本シーリング協会第二部会

種別	社名	品名	品番	色	形状	単価		目地 5×5		目地 10×5		目地 10×10		容量	特性 (可使時間)				
						毎当り	ℓ当り	材料価格	材工価格	材料価格	材工価格	材料価格	材工価格						
ポリサルファイド系	住友スリーエム ㈱	ウエザーバン		アルミ黒グレー	2液	6,200	177	160	337	354	160	514	708	160	868	4ℓ缶3ℓ入			
						5,150	140	160	300	280	160	440	560	160	720				
	横浜ゴム ㈱	ハマタイト	300 SC400 500		茶黒グレー	2	4,700	120	170	290	235	170	405	470	170	640	3ℓ, 5ℓ, 20ℓ kit	可使時間、調整可 着色、色合せ自由	
	㈱エービーシー商会	チオコーク	#25			2	2,500	3,800	105	140	245	210	150	360	420	150	570	4.4ℓ(2.9ℓ)	可使 指触 完全 時間 乾燥 硬化 5時間、72時間、7日間 (20℃)
	日本添加剤工業 ㈱	ファイブシラー	#300		グレー	2	2,900	4,000	110	150	260	220	150	370	440	160	600	1ℓ缶	アルミ色は1070up 120分(25℃)
	㈱日興社	ニツシール				2	3,200		90	170	260	180	180	360	360	200	560	1ℓ, 3ℓ, 15ℓ	1/4~12時間
	明星工業 ㈱	スターコーキング	40L 40H			2	2,500	3,000	100	150	250	200	150	350	400	180	580	22ℓ	24時間
	セメダイン ㈱	ポリコーク	S			2	3,290		90	140	230	180	140	320	362	143	505	60%, 1.2ℓ, 12ℓ	4.5時間(25℃) アルミグレー
	鐘淵合成化学 ㈱	ゴレックス	P5000			2	2,600	3,000	80	150	230	160	150	310	320	150	470	1ℓ, 4ℓ, 10ℓ 0.05ℓ, 0.2ℓ, 0.5ℓ	ノンサグ型可使時間 20℃, 8時間, 25℃, 4時間 50/90% 50/70%
	大山化学 ㈱	ビスコーラA	#30 #30 #150		クリーム グレー 黒グレー	2 2 2	2,800 3,800 3,000		80 108 86	150 150 150	230 258 236	160 216 172	150 150 150	310 366 322	320 432 344	150 150 150	470 582 494	20ℓ # #	3時間 # #
	日新工業 ㈱	ハイシール				2	3,500												
	タイホー工業 ㈱	トリタイト	#1000			2	3,500		100	140	240	190	140	330	380	170	550	18ℓ, 3.6ℓ(5ℓ)	
	㈱東京スリーボンド	ロンジーシラン	1号 2号			2	3,750		100	140	240	190	170	360	375	200	575	1ℓ, 10ℓ, 20ℓ	3.5時間
	三星産業 ㈱						現在価格未定												
	明星工業 ㈱	フレックスコーク				1液	3,300		110	140	250	220	130	350	420	160	580		
ソニーケミカル ㈱	デュアリボン	5011	アルミ	2液	2,840	3,980		110	135	245	225	145	370	445	150	595	1ℓ, 18ℓ kit		
	デュアリボン	5011	黒	2液	2,650	3,710		100	135	235	195	145	340	385	150	535	1ℓ, 18ℓ kit		
シリコーン系	信越化学工業 ㈱	信越シリコンシラント			1液	4,650		130	140	270	280	150	430						
	栗山護謨 ㈱	ロードシール			1	4,200		130	140	270	280	150	430						
	富士高分子工業 ㈱	シラシール			1	4,950		160	140	300	330	150	480				カートリッジ入 340g	1時間 硬化時間 24時間内	
	東京芝浦電気 ㈱					現在価格未定													
	トレスリコン ㈱					現在価格未定													
ブチル系	住友スリーエム ㈱	リボンシール			液性 1	2,145		63	130	193	125	130	255	250	130	380	カートリッジ 1ℓ(303cc)		
	㈱日興社	アレンシール				1,200		100	150	250	125	150	275	150	180	430	3ℓ, 15ℓ		
	タイホー工業 ㈱	シールパック			成型品			50	30	80	65	30	95	110	30	140		紐状	
	山内ゴム工業 ㈱	トップシラ	#3000 #30 #300		液性 成型品	700 700		20	50	70	70	65	100	70	80	150	18ℓ 18ℓ	溶解性 紐状	
	ソニーケミカル ㈱	デュアリボン	4040	アルミ黒	1液			50	90	140	100	100	200	200	105	305	カートリッジ (320cc) 1ℓ 18ℓ		
		デュアリボン	1072	黒	テープ状			4.8×4.8 165	40	205	4.8×7.9 210	40	250	8.7×8.7 295	40	335			
エポキシ系	大山化学 ㈱	ベルノックス	#2200		2液	1,800		51	200	251	102	200	302	204	200	404	18ℓ	3時間	
	㈱東京スリーボンド	スリーロンジー	EL5G			2,000		50	150	200	100	180	280	200	180	380	1ℓ, 10ℓ, 20ℓ	3.5時間	
ネオブレン系	㈱東京スリーボンド	スリーコーク			1液	2,400		60	110	170	120	130	250	240	150	390	200g, 1ℓ, 10ℓ, 20ℓ		
ウレタン系	日本ヘルメックス ㈱	ヘルメシール	US-10 US-20	白 灰 黒	1液	1,600											100g, 333cc 1ℓ, 20ℓ	US-10フロータイプ US-20ノンサグタイプ	

3/1 2000

120/100/20

日本シーリング協会

会 員 名 簿

第一部会会員 (油性コーキング材製造業者)

東京地区

会 員 名	商 品 名	電 話	住 所
㈱ A B C 商 会	ABCコーキング	(580) 1411~9	東京都千代田区永田町 2-77
昭和化工 ㈱	バルカテックス	(591) 5416~9	// 港区芝新橋 1-18 堤ビル
積水化学工業 ㈱	エパーシール	(254) 5111	// 千代田区内神田 2-15-9 互助会ビル
セメダイン ㈱	セキスイコーキング	(833) 0331	// 千代田区外神田 6-13-8 号
タイホー工業 ㈱	ポリコーク	(452) 7641	// 港区芝 1-3-8
大日本塗料 ㈱	トリタイト # 7	(216) 1861	// 千代田区丸の内 3-2 新東京ビル
日瀝化学工業 ㈱	DNTコーク	(894) 4331	// 荒川区西尾久 8 の 47
日新工業 ㈱	サッシール	(882) 2424	// 足立区千住東町 93
鐘淵合成化学工業 ㈱	マルエスコーク	(432) 4551	// 港区新橋 5-7-13 仲井ビル
日本添加剤工業 ㈱	ゴーレックス P320	(252) 3881	// 千代田区内神田 2-5-1
小野田ユニロン ㈱	ファインコーク	(567) 8571	// 中央区銀座西 3-1 建築会館
三星産業 ㈱	ユニロンコーキング	(866) 6120~9	// 千代田区岩本町 3-11-13
明星工業 ㈱	三星コーキン	(669) 0441	// 中央区日本橋兜町 2-38 共同ビル
テイバ化工 ㈱	スターコーキング	(471) 5245	// 港区港南 3-4-12
志水パテ製造 ㈱	ブレインコート	(376) 2281	// 新宿区角管 3-196
三洋工業 ㈱	エスコーク	(645) 9461	// 江東区北砂 1-19-13
中外商工 ㈱	スリーコーキング	(861) 6731	// 千代田区東神田 1 の 11 の 7 三ツ福ビル
日立化成工業 ㈱	チューガイコーキング	(212) 1111	// 千代田区丸の内 1-4 新丸ビル
日東化成工業 ㈱	日立コーキング	(361) 4653	// 中野区氷川町 2
	ブラシールコーキン グ No.6		

大阪地区

会 社 名	商 品 名	電 話	住 所
㈱ A B C 商 会	ABCコーキング	(443) 0731	大阪市西区京町堀 1-126
昭和化工 ㈱	バルカテックス	(341) 6395	// 北区梅田町 27 産経ビル
積水化学工業 ㈱	エパーシール	(441) 1831	// 北区宗是町 1 大ビル
セメダイン ㈱	セキスイコーキング	(271) 3456	// 南区大宝寺町東之了 41
タイホー工業 ㈱	ポリコーク	(371) 9081	// 大淀区豊崎西通 1 の 16 栗田ビル
大日本塗料 ㈱	トリタイト # 7	(461) 5371	// 此花区西野下之町 32
日瀝化学工業 ㈱	DNTコーク	(392) 0051~6	// 東淀川区掘上通 3-39
日新工業 ㈱	サッシール	(531) 5281~3	// 西区新町北通り 1-18
日本化成工業 ㈱	マルエスコーク	(472) 3886	// 西淀川区姫島町 2-22
鐘淵合成化学工業 ㈱	ネオシールコーキング	(313) 4024	// 北区太融寺町 33 大阪合同ビル
日本添加剤工業 ㈱	ゴーレックス P320	(443) 6231~3	// 西区江戸堀北通り 1-69 日々会館ビル
小野田ユニロン ㈱	ファインコーク	(311) 0037	// 北区梅田町 2 第 1 生命ビル
三星産業 ㈱	ユニロンコーキング	(443) 9721~2	// 西区京町堀 1-74
明星工業 ㈱	三星コーキン	(441) 6151~4	// 西区土佐堀通り 1-18
志水パテ製造 ㈱	スターコーキング	(921) 3078~9	// 都島区御幸町 1-62
三洋工業 ㈱	エスコーク	枚方 (41) 0061	大阪府枚方市伊加賀保町 10-9
中外商工 ㈱	スリーコーキング	(443) 7321~3	大阪市西区靱本町 1-75
日立化成工業 ㈱	チューガイコーキング	(362) 5181	// 北区富田町 18 島根ビル
三英ポリマー工業 ㈱	日立コーキング	池田 (5) 2069	大阪府池田市木部町 639
テイバ化工 ㈱	リバーコーク	(381) 1118	大阪市東淀川区下新庄町 2-263
日東ポリマー工業 ㈱	グレインコート	(448) 1960	// 福島区中江町 24 金丸ビル
日東化成工業 ㈱	ニットーコーク	(693) 3561	// 住吉区帝塚山東 4-37
	ブラシールコーキン グ No.6		

名古屋地区

会社名	商品名	電話	住所
(株) ABC 商会	{ABCコーキング バルカテックス	(331) 9611	名古屋市中区古沢町 5-1
昭和化工 (株)	エバーシール	(231) 6568	// 中区丸の内 1-17-19 長銀ビル
積水化学工業 (株)	セクスイコーキング	(541) 8741~5	// 中村区掘内町 4-1 毎日名古屋会館ビル
セメダイン (株)	ポリコーク	(251) 7511	// 中区上前津町 1
タイホー工業 (株)	トリタイト # 7	(961) 4111	// 中区錦町 3-13-29 明乳ビル
大日本塗料 (株)	DNTコーク	(561) 2421~4	// 中村区広井町 3-88 大名古屋ビル
日漕化学工業 (株)	サッシール	(661) 8251~5	// 港区南11番町 2-6
日新工業 (株)	マルエスココーキング	(741) 6257~8	// 千種区千種通り 2-19 岐阜正ビル
鐘淵合成化学工業 (株)	ゴーレックス P320	(221) 9131~3	// 中区栄 1-5-22 東ビル
日本添加剤工業 (株)	ファインコーク	(571) 6808	// 中村区太閤通 2-40 フタバビル
小野田ユニロン (株)	ユニロンコーキング	(561) 5722	// 中村区広井町 3-98 名古屋ビル
三星産業 (株)	三星コーキン	{(941) 3751 (971) 4574	// 東区高岳町 1-11 花清ビル
明星工業 (株)	スターコーキング	(881) 6878・6973	// 昭和区東郊通り 4-9 三幸ビル
志水パテ製造 (株)	エスコーク	(531) 4791	// 西区稲生町 3-44
建材化工 (株)	パンシール	(941) 6700	// 東区舎人町 46 万景ビル
三洋工業 (株)	スリーコーキング	(821) 0325・0680	// 南区南陽通り 1-54
中外商工 (株)	チューガイコーキング	(582) 3836	// 中村区若狭町 1-12
共立化学 (株)	3Kコーキング	上野 (63) 2631	{愛知県知多郡上野町大字南柴田新田 イの割 44の19

第2部会会員 (弾性シーリング材製造業者)

東京地区

会員名	商品名	電話	住所
(株) エービーシー商会	チオコーク	(580) 1411	東京都千代田区永田町 2-77
栗山護謨 (株)	ロードシール	(463) 1841	// 渋谷区桜が丘 96 三和ビル
信越化学工業 (株)	{信越シリコーンシー ラント	(216) 3411	// 千代田区丸の内 1-2 東銀ビル
住友スリーエム (株)	ウェザーパン	(403) 1111	// 港区赤坂 7-1-21 スリーエムビル
セメダイン (株)	ポリコーク S	(833) 0331	// 千代田区外神田 6-13-8
タイホー工業 (株)	トリタイト # 1000	(452) 7641	// 港区芝 1-3-8
(株) 日興社	ニッシール	(642) 7103	// 江東区深川白河町 4-1
日新工業 (株)	ハイシール	(882) 2424	// 足立区千住東町 93
鐘淵合成化学工業 (株)	ゴーレックス P5000	(432) 4551	// 港区新橋 5-7-13 仲井ビル
日本添加剤工業 (株)	ファインシーラー	(252) 3881	// 千代田区内神田 2-5-1
三星産業 (株)		(866) 6120	// 千代田区岩本町 3-11-13
明星工業 (株)	スターコーキング	(669) 0441	// 中央区日本橋兜町 2の38 共同ビル
横浜ゴム (株)	ハマタイト	(432) 7111	// 港区新橋 5-36-11
(株) 東京スリーボンド	{ロンジーシーラン スリーロンジー	(342) 3911	// 新宿区角管町 2-38
富士高分子工業 (株)	シラシール	(731) 0195	// 目黒区上目黒 1-226
大山化学 (株)	{ビスコール A ペルノックス	(719) 1536	// 目黒区上目黒 3-1844
東京芝浦電気 (株)		(501) 5411	// 港区新橋 3の3の9 阪急交通社ビル
山内ゴム工業 (株)	トップシーラー	(273) 1871	// 中央区日本橋通り 3の4 岩上ビル
日本ヘルメックス (株)	ヘルメシール	(492) 3677	// 品川区大崎 2-11-1
トーレシリコーン (株)		(552) 8431	// 中央区西八丁堀 2-2 八重洲建物ビル
ソニーケミカル (株)	デュアリボン	(743) 3447	// 大田区東靴谷町 5の23の14

大阪地区

会員名	商品名	電話	住所
(株) ABC 商会	チオコーク	(443) 0731	大阪市西区京町堀 1-126
栗山護謨 (株)	ロードシール	(363) 3321	// 北区梅ヶ枝町 122
信越化学工業 (株)	{信越シリコーンシー ラント	(443) 2001	// 北区宗是町 1 大阪ビル

大阪地区

会 員 名	商 品 名	電 話	住 所
住友スリーエム(株)	ウエザーバン	(203) 0421	大阪市東区瓦町5-71 瓦町ビル
セメダイン(株)	ポリコークS	(271) 3456	// 南区大宝寺町東之了41
タイホー工業(株)	トリタイト #1000	(371) 9081	// 大淀区豊崎西通1-16 栗田ビル
日新工業(株)	ハイシール	(531) 5281~3	// 西区新町北通り1-18
鐘淵合成化学工業(株)	ゴーレックスP5000	(313) 4024	// 北区大融寺町33 大阪合同ビル
日本添加剤工業(株)	ファイレシーラー	(443) 6231~3	// 西区江戸堀北通り1-69 日々会館ビル
三星産業(株)		(443) 9721~2	// 西区京町堀1-74
明星工業(株)	スターコーキング	(441) 6151~4	// 西区土佐堀通り4-9 三幸ビル
横浜ゴム(株)	ハマタイト	(363) 1421	// 北区堂島中1-27 堂島第1ビル
(株) 東京スリーボンド	{ ロンジシーラー スリーロンジー	(321) 7471	// 北区太融寺町33 大阪合同ビル
富士高分子工業(株)	シラシール	(261) 7303	// 東区本町1-18 山基ビル
大山化学(株)	{ ビスコールA ベルノックス	(261) 7303	// 東区本町1-18 長谷川山基ビル
東京芝浦電気(株)		(252) 1281	// 東区本町4-29
山内ゴム工業(株)	トップシーラ	(717) 1221~9	// 生野区北生野町5-30
日本ヘルメックス(株)	ヘルメシール	(441) 1114・2904	// 西区江戸堀1-144
トーレシリコン(株)		(231) 2345	// 東区北浜2-22 三井信託ビル
ソニーケミカル(株)	デュアリボン	{ (458) 4040 (451) 3941	// 福島区上福島中2-50 サノンビル

名古屋地区

会 員 名	商 品 名	電 話	住 所
(株) A B C 商会	チオコーク	(331) 9611	名古屋市中区古沢町5-1
信越化学工業(株)	{ 信越シリコンシー ラント	(581) 6511	// 中村区広小路西通3-19
住友スリーエム(株)	ウエザーバン	(221) 7611	新名古屋ビル南会館 名古屋市中区音羽町4 音羽ビル
セメダイン(株)	ポリコークS	(251) 7511	// 中区上前津町1
タイホー工業(株)	トリタイト #1000	(961) 4111	// 中区錦3-13-29 明乳ビル
日新工業(株)	ハイシール	(741) 6257~8	// 千種区千種通り2-19 岐阜正ビル
鐘淵合成化学工業(株)	ゴーレックスP5000	(221) 9131~3	// 中区栄1-5-22 東ビル
日本添加剤工業(株)	ファインシーラー	(571) 6808	// 中村区太閤通2-407 フタバビル
三星産業(株)		{ (941) 3751 (971) 4574	// 東区高岳町1-11 花清ビル
横浜ゴム(株)	ハマタイト	(881) 6111~9	// 昭和区東郊通7-12
東京スリーボンド(株)	{ ロンジシーラー スリーロンジー	(961) 7311~3	// 中区錦2-23-31 栄町ビル
富士高分子工業(株)	シラシール	(582) 3061	// 中村区笹島町1-222-1 菱信ビル
大山化学(株)	{ ビスコールA ベルノックス	(582) 3061	// // //
東京芝浦電気(株)		(951) 4511	// 中区錦3-24-17
山内ゴム工業(株)	トップシーラ	(561) 5401	// 中村区泥江町1-24 中経ビル
日本ヘルメックス(株)	ヘルメシール	(671) 9370・3219	// 熱田区市場町105

第3部会会員 (コーキング施工業者)

登録番号	会 員 名	代 表 者 名	電 話	住 所
302	大和興業(株)	淵上 正	(733) 0343	東京都大田区安方町34-2
303	富士建材(株)	臼倉 教雄	(919) 6907	〃 北区豊島2-13
304	富士興業(株)	白井 盛永	(502) 5231	〃 港区芝西久保明舟町17 虎の門郵政互助ビル
305	ハマシール工業(株)	鷺山 哲男	(271) 3328	〃 中央区八重洲4-1
306	平和工業(株)	脇 勇	(831) 7563	〃 台東区上野3-12-3
307	細田工業(株)	細田 直司	(432) 4073	〃 港区芝中門前1-43
308	石黒建材工業(株)	石黒 一司	(922) 1571	〃 練馬区東大泉424
309	伊藤建材(株)	伊藤 豊吉	(842) 1431	〃 台東区西浅草2-15-9
310	マサル工業(株)	刈谷 勝	(666) 0516	〃 日中央区日本橋蛸殻町1-16第5和孝ビル
311	マサル瀝青工業(株)	西田 勝治	(842) 6311	〃 台東区北上野2-21-10
312	中村瀝青工業(株)	中村 栄朔	(892) 0131	東京都荒川区町屋1-21
313	日本美装工業(株)	中島 武子	(253) 9405	〃 千代田区淡路町2-23
314	日新建工(株)	荻野 英夫	(803) 2411	〃 荒川区南千住6-42
315	清起工業(株)	柴田 翠	(409) 6710	〃 渋谷区渋谷3-27-12 並木ビル
316	山藤工業(株)	山内 更平	(293) 5011	〃 千代田区内神田1-11
317	成和工業(株)	大月 栄一	(434) 4466	〃 港区芝片門前1-3
319	昭和工業(株)	田添 敏正	(353) 3675	〃 新宿区四谷2-1 斎藤ビル
320	昭和工事(株)	梯 公道	(591) 5416	〃 港区新橋1-13-10 昭和化工(株)内
321	高萩興業(株)	宇佐美 満男	(657) 6083	〃 江戸川区西小岩1-27-22
322	添加剤工事(株)	野口 八朔	(291) 6043	〃 千代田区内神田1-10-2 三満ビル
325	大和工業(株)	楡井 喜重	(802) 4751	〃 荒川区南千住6-151-2
326	(株)日本シリコン商会	田中 応孝	(409) 2131	〃 渋谷区神宮前5-52
327	(株)水光工業	田中 利典	横浜(311) 3005	横浜市神奈川区台町56
328	三和工材(株)	大島 孝雄	(551) 1869	東京都中央区西八丁堀2-6 牧野ビル
329	西ウォータープルーフ イングコンサルタント(株)	西 一	(668) 7041	〃 中央区日本橋蛸殻町2-10第1和孝ビル
330	シ歴ルマン工業(株)	井部 昭一	(866) 9537	〃 千代田区神田和泉町1-11
331	丸福産業(株)	福間 靖明	(641) 3096	〃 江東区深川1-9
332	トーション工業(株)	土田 清美	(966) 9541	〃 北区浮間4-12

相 談 役

伊藤 憲太郎 (社)日本建設材料協会 理事長

顧 問 (順不同)

狩野 春一 工学院大学教授
 浜田 稔 東京大学名誉教授・東京理科大学工学部長
 波多野 一郎 千葉大学教授
 西 忠雄 東京大学教授

賛 助 会 員

鐘淵紡績(株) 大阪市都島区友洲町123 大阪(921) 1231
 (株)新和商会 東京都豊島区巣鴨1の3 (644) 6411
 日瀝特殊化工(株) 東京都荒川区西尾久8の47 (894) 4331, 0161
 (株)野村事務所 東京都港区西新橋1の30の10 日石本館 (502) 1466
 旭ダウ(株) 東京都千代田区有楽町1の12の1 日比谷三井ビル (502) 7111
 工業ゴム(株) 東京都千代田区神田鍛冶町3の3 ニュー神田ビル (256) 5691~2

◆例年にもましてむし暑かった今年の夏も、台風の発生一つ二つと報ぜられるにつれて、そこはかとな秋の気配に人の心も自然にものあはれを感じないわけにはゆかない。

馬追虫の鬚のそよりに来る秋は
まなこを閉ちて想ひみるべし

長塚節の絶唱である。むかしの人の季節に寄せる繊細な息吹きがそくそくと耳朶を打つようである。

◆秋といえば思い出されるのが、かつて南関東一帯を襲ったマグニチュード7・5という大正12年の関東大震災。毎年9月1日がめぐってくるたびに、この天刑を人々は思い出話から現実の話題の中へ引っぱり出して、防災態勢をうんぬんしはじめるのである。

◆一千万人の人口をかかえている過密都市の東京では、都心と周辺部の大量の人口が昼夜交代して流動している。それに伴うラッシュの渦、マンモス化するターミナル、立体化する超高層ビルと幾段にも重なる地下街、そこに出入して右往左往する群衆、こうした状況のもとで不幸にして大地震が起ったらどういふ事態が発生するだろうか。

◆高層ビルや地下道そのものは崩壊することはないという建築・土木工学のタイコ判であるが、それはよく

いわれるように、超高層建築の良否は一にかかって部材と部材のジョイント部のシール材の良し悪しに負うところが多く、耐震構造とひとくちと言う場合は、基礎的な面はもちろんとしてグラツときたときの大きな震動に素材の伸縮にシール材が追随して破壊されることなく、しかも所期の水密・気密の目的を立派に果たすというところまで最近のシール材はレベルアップされてきている、ということを実はこの短文でいいかかったのである。

◆このことはたとえば、さる7月末に実現をみた建築用油性コーキング材JIS指定工場、ポリサルファイドJIS原案、JASS防水工事等の当協会を軸に行われた関係活動の幾多の成果をみても分ると思う

前号の「編集便り」ではこの油性コーキング材JIS工場問題にふれて、今年中にはJISマークの商品が市場に出まわってくるであろう、と述べたが、日を経ずしてそのことが実現した。これもひとえに関係各位のご鞭撻のたまものと紙上をかりてお礼を申し述べさせて戴く。

◆業界に山積している難問題は、教えあげていけばきりもないが、さいわい新役員の方々の美事な協会運営の手腕によって、一つ一つ解決のき

編集便り



ざしを見せはじめています。

加えて、アウトサイダーの協会新加盟もあいづぎ、このことは文字どおりわが国唯一の業者団体として発展隆盛を指向するものといって過言でないと思う。今後も材料業者、施工業者一丸となって建設産業向上の一助を果たしたいと切望している。

◆また当協会としては、こののちPR事業の本格推進に全力を傾注してユーザーの方々の利用面への資料の充実にも努めていきたいと考え、講習会、講演会、座談会、パンフレット等万全の受入れ体制を固めつつあるので、ご希望のむきは当協会へお申込み下さればいつでも便宜をお計らいしたいと考えています。

◆本号がいろいろの手違いから発行が遅れたことをお詫びしたい。

毎号「シーリング」に寄せる皆さまのご声援は、アンケートによるものを別表に掲げたが、統計にみられるようにさいわいお役に立てて戴いているようで、当事者として、これからもますます紙面の充実に尽力して、ご期待に添い得たいと思う。一層のご声援を期待してやまない。

「シーリング」第2号までのアンケート集計

	創刊号	第2号		創刊号	第2号
非常に役立つ雑誌	10	7	工事報告 参考になる増やせ	8	7
まあまあといったところ	4	3	資材研究 続けてほしい	5	3
あまり役に立たない	0	0	ヨーロッパみてある記面白い	5	2
			用語解説 大変参考になる	7	2
もっと解説紹介記事を増やせ	4	4	随想、やぶにらみ建築論は外部からの欄にしたらどうか	4	2
もっと解説研究記事を増やせ	6	2	シーラントの現物管理 良		4
この程度でいい	4	3	相談室 良	6	4
			その他		
文章が難かしい	0	0	JIS合格品の耐久性を知りたい。	2	
やさしすぎる	3	0			
これでいい	5	5			
				計	計
標準施工仕様書有用な資料である	4			73枚	48枚

◆例年にもましてむし暑かった今年の夏も、台風の発生一つ二つと報ぜられるにつれて、そこはかたない秋の気配に人の心も自然とものあはれを感じないわけにはゆかない。

馬追虫の鬣のそよりに来る秋はまなこを閉ちて想ひみるべし
長塚節の絶唱である。むかしの人の季節に寄せる繊細な息吹きがそくそくと耳朵を打つようである。

◆秋といえば思い出されるのが、かつて南関東一帯を襲ったマグニチュード7・5という大正12年の関東大震災。毎年9月1日がめぐってくるたびに、この天刑を人々は思い出話から現実の話題の中へ引っぱり出して、防災態勢をうんぬんしはじめるのである。

◆一千万人の人口をかかえている過密都市の東京では、都心と周辺部の大量の人口が昼夜交代して流動している。それに伴うラッシュの渦、マンモス化するターミナル、立体化する超高層ビルと幾段にも重なる地下街、そこに入出して右往左往する群衆、こうした状況のもとで不幸にして大地震が起ったらどうという事態が発生するだろうか。

◆高層ビルや地下道そのものは崩壊することはないという建築・土木工学のタイコ判であるが、それはよく

いわ
は一
ント
とこ
に言
んと
震動
して
期の
すと
はレ
いう
った
◆こ
に実
材J
ドJ
の当
動の
前
コー
て、
が市
と述
が実
位の
てお
◆業
えあ
わい
の手

シーリング第3号 広告索引

- (ア) 旭ダウ……………目次裏
- (エ) ABC 商会……………表紙4
- (オ) 小野田ユニロン……………表紙4
- (カ) 鐘淵合成化学工業……………広前1・表紙4
- (キ) 共立化学……………25
- (サ) 三洋工業……………24・表紙4
- (シ) 昭和化工……………目次袖裏
新和商会……………広前2
- (ス) 水光工業……………広後2
- (セ) 清起工業……………19
- (タ) タイホー工業……………広後1・表紙4
大日本塗料……………表紙4
大和興業……………広後2
- (ニ) 日本添加剤工業……………広前2・表紙4
日本ヘルメテックス……………広後1
日本化成工業……………広告索引裏
日瀝化学工業……………24
日新工業……………表紙2
- (ノ) 野村事務所……………目次袖裏
- (ハ) ハマシール工業……………広告索引裏
- (ミ) 三星産業……………表紙3
- (ヨ) 横浜ゴム……………表紙3

本誌への広告お申込みは新樹社へ

東京都中央区銀座東8の4

全国燃料会館105号

TEL(541)5728・(542)9324

「シーリング

	創刊
非常に役立つ雑誌	10
まあまあといったとろ	4
あまり役に立たない	0
もっと解説紹介記事を増やせ	4
もっと解説研究記事を増やせ	6
この程度でいい	4
文章が難かしい	0
やさしすぎる	3
これでいい	5
標準施工仕様書有用な資料である	4

シーリング 第3号(第1巻・第3号) SEALING

発行/日本シーリング協会

東京都千代田区外神田2の2の17
(共同ビル万世)

TEL (255)0231代・(255)2841直

編集/新樹社

東京都中央区銀座東8の4
(全国燃料会館105号)

TEL (541) 5728・(542) 9324

印刷/毎夕印刷株式会社

東京都台東区東上野1の6の11
TEL (834) 2781~3

広告一手扱/新樹社

非売品

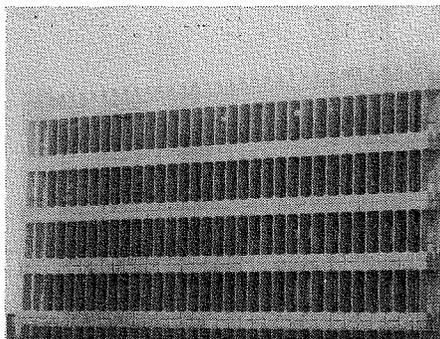
コーキング
コンパウンド **トリタイト#7**

(JIS指定製品)

チオコール系
シーリング **トリタイト #1000**

其他種類

紐状シーリング材・シールパック
塗布型防水材・タイボンコート
止水・接着ライニング材・トリテックス



タイホー工業株式会社

本社	東京都港区芝1丁目3番8号	TEL東京 (452) 7641(大代表)
大阪支店	大阪市大淀区豊崎西通1丁目16	TEL大阪 (371) 9081~6
名古屋支店	名古屋市中区錦3丁目13番29号(明乳ビル)	TEL名古屋 (961) 4111~3
九州支店	北九州市門司区棧橋通(郵船ビル)	TEL門司 (32) 3564~6
出張所	横浜・神戸・広島・静岡・札幌・倫	
工場	大阪・名古屋 研究所 藤 沢	

ヘルメシール

1液性ウレタンシーラント

No. **US-10** (フロー型)

No. **US-20** (ノンサグ型)

ウレタンプレポリマーをベースにした我国で最も新しい一液無溶剤RTVシーラントです。空気中の水分と反応してウレタンゴム弾性体になります。

特長

- 無溶剤のため肉やせ、収縮がない。
- 一液性で硬化剤を加える必要がなく混合ミス、ロスがない。
- 耐水、耐老化性がよい。



液状ガスケット JIS 表示許可工場



日本ヘルメテック 株式会社

本社・営業部 東京都品川区大崎2丁目11-1 電話 (492) 3677(代表)
大阪営業所 大阪市西区江戸堀1-144 電話 (441) 1114・2904
名古屋営業所 名古屋市熱田区市場町105 電話 (671) 3219・9370

日本シーリング協会々員
登録番号 302

ユニロンコーキング
信越シリコンシーラント

東京都知事登録
〈リ〉第40557号

責任施工

ダイワ
大和興業株式会社

代表取締役 淵上 正

東京都大田区安方町34番地

電話 (733) 0343番

日本シーリング協会
登録番号 327

日立コーキング (K-800 K-3800)

トリタイト (#7 #1000)

他各種コーキング責任施工



京浜地区唯一の専門工事店

スイコー
有限会社 **水光工業**

代表取締役 田中利典
横浜市神奈川区台町5-6
TEL 横浜 (311) 3005

理想的間隙充填材 三星コーキング

「建物の状態は予想以上に良く

まるで人が住んでいる様だった」

南極観測再開「第七次観測」のための調査員現地報告より

この秘密は、厳しい気象条件を克服して、重要な基地をまもり通した三星コーキングが大きな役割を果たしていたからです

三星コーキングは、第三次以来このたびの第八次まで毎次お役に立っております



南極昭和基地の三星コーキング

◆営業品目◆

- ★三星コーキング販売工事
- ★ヒーロー工法工事
- ★アスファルト防カ工事

- ★三星アスファルト防カ工事
- ★防カ工保冷工事
- ★三星アスファルト
- ★アスファルト防カ工事



三星産業株式会社

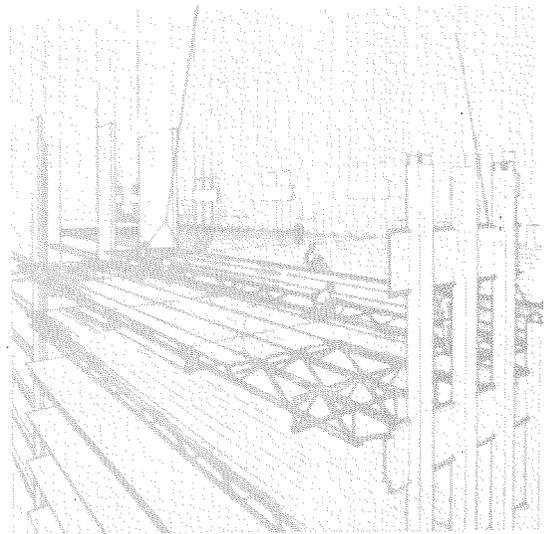
東京都千代田区岩本町3-11-13

TEL (866) 0271-66121-9

出張所ノ札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

超高層ビル建設の推進力

カ、ワンウォール工法によるヨコハマゴムのシーリングコンパウンドを使用した超高層ビルは、全国で200ヶ所以上になりました。21階建「横浜トリニタワー」、16階建「百十四銀行」、15階建「富士銀行本店」など本品使用の代表例です。超高層ビル建設の推進力となっており、



ヨコハマゴムの建築用

ハマタイトシーリングコンパウンド



『建築用油性コーキング材』のJIS指定工場として認可になりました

◎今後共品質管理に充分留意しより良い製品を製造して行きたいと思っておりますので何分の御引立を御願い致します。

ABCコーキング **ABC** (株) 商會

トリタイト#7 **タイホー工業株式会社**

DNT コーク **大日本塗料株式会社**

ゴレックスP320 **鐘淵合成化学工業(株)**

ファイコーク **日本添加剤工業(株)**

ユニロン コーキング **小野田ユニロン株式会社**

スリーコーキング **三洋工業株式会社**

(日本シーリング協会登録番号順)